

令和 8 年度

大 和 の 教 育

大和市教育委員会

大 和 市 民 憲 章

自然と人間との健全な調和のとれた大和市の輝かしい未来を目ざして、わたくしたちは、大和市民としての自覚と誇りをもって、市民ひとりひとりのしあわせを願いながら、ここに市民憲章を定めます。

1. みんなで力をあわせて、
若さと明るさにあふれたまちをつくりましょう。
1. みんなで力をあわせて、
友情としあわせにつつまれたまちをつくりましょう。
1. みんなで力をあわせて、
教養と文化の豊かなまちをつくりましょう。
1. みんなで力をあわせて、
自然と環境の美しいまちをつくりましょう。
1. みんなで力をあわせて、
きまりと平和を守るまちをつくりましょう。

昭和 54 年 2 月 1 日制定

大和市教育目標

わたくしたち大和市民は、文化の香り高い、活力ある大和市づくりを目指している。そのためには、「人間尊重の精神」を基盤としなければならない。

その基盤の上に、自分をしっかりと持ち、他の人々と連帯できる創造性豊かな人間として自己を磨き伸ばしていくことが求められる。

心身ともに健康な人
自立心を持つ人
学び続ける意欲を持つ人
思いやりの心を持つ人
自然を大切にする人
愛情と信頼に結ばれた家庭づくりをする人
近隣の人たちと共に生きる人
豊かな文化をはぐくむ人
国際社会の一員として行動できる人

平成元年4月1日制定

社会教育の基本目標

社会構造の成熟化により、人々の学習への関心や要求は多様化し、内容も高度・専門化している。また活動の場は、時間的にも空間的にも拡大している。

こうした背景から生まれた生涯学習社会において、社会教育は大変重要な役割を占め、その期待はますます大きくなってきている。

そこで、家庭・学校・地域社会の総合的な協力・連携を図り、学習機会の拡充・学習活動への支援など、社会教育活動の推進を積極的に展開する必要がある。

そのためには「大和市教育目標」を基盤に、

- (1) 健康で明るく、愛情に満ちた家庭を築く
- (2) 豊かな心を持ち、ゆとりある地域づくりに参加する
- (3) 平和を愛し、国際的な視野を身につける
- (4) 自然とふれあい、うるおいある文化を育む
- (5) 楽しく学び、人生に生きがいを持つ

など、主体的に行動できる人間形成をめざすことを目標とする。

平成4年4月14日制定

大和市の宣言

明るくたくましい青少年が育つ都市宣言

大和市のあすをにない、友愛にみちた住みよい社会を築くのは青少年である。

青少年が自己の行動に自覚と責任をもち、心身ともに明るくたくましく成長することは、すべての市民の願いである。

この願いを実現するため、青少年自らの努力を期待するとともに、家庭、学校をはじめ地域社会が一体となり、市民の総力をあげて青少年育成の施策を推進することを決意し、ここに大和市を「明るくたくましい青少年が育つ都市」とすることを宣言する。

昭和 57 年 4 月 1 日制定

大和市平和都市宣言

世界の恒久平和は、人類共通の願いである。

しかるに、地球上では依然として武力紛争が絶え間なく続き、際限のない軍備拡大は核軍備の増強をも招来し、人類の生存に深刻な脅威を与えている。

大和市は、常にわが国の国是である「持たず、造らず、持ち込ませず」の非核三原則が厳正に遵守されることを願い、すべての国の核兵器の廃絶と軍縮を全世界に強く訴えるとともに、人類の永遠の平和を希求し、真の恒久平和を実現するため、ここに平和都市となることを宣言する。

昭和 60 年 9 月 19 日制定

「環境立市 大和」宣言

太古より人類は 自然を愛し 自然の恵みに感謝し 自然と共に栄えてきました

大和市は 人と自然が共生し 良好な環境を確保するため 「大和市環境を守り育てる基本条例」を制定し環境問題に積極的に取り組んでいます 都市としての発展による環境問題は 依然として深刻です

環境問題の解決には 私たち一人ひとりが日々の生活の中で 環境について見つめ直し 環境を思いやる心をはぐくみ 広めていくことが重要と考えています

大和の快適な環境づくりを推進していくため 環境について学び 知り 考え そして環境に配慮できる人間の育成と更なる環境保全施策の展開を誓い ここに「環境立市 大和」を宣言します

平成 16 年 4 月 22 日

「認知症 1 万人時代に備えるまち やまと」宣言

超高齢社会を迎え、認知症になる人は急激に増加しており、大和市においても近い将来、その数は、1 万人を超えるものと予測されます。

これからは、誰もが認知症にかかわる可能性があり、あらゆる世代、立場の人が協力しあい、認知症の人への理解を深め、その想いに寄り添っていくことが大切です。

大和市は、認知症の人が住み慣れた地域で、人と人とのつながりを育みながら、自分らしく、安心して暮らし続けられるよう、様々な取り組みを進め、認知症 1 万人時代に備えます。

平成 28 年 9 月 15 日

「70 歳代を高齢者と言わない都市 やまと」宣言

「人生 100 年時代」を迎える超高齢社会では、一般に 65 歳以上を高齢者とする固定観念を変えていくことが必要です。

年齢を重ねても、自らの健康を維持し、自立した生活を送れるよう努めている方、豊かな知識と経験を生かし、様々な役割を果たしている方など、一人ひとりが大和のかけがえのない存在です。

支えを必要とする方には手を差し伸べながら、この世代の方々が、個々の意欲や能力に応じて、いつまでも生き生きと活躍していただきたいと考え、「70 歳代を高齢者と言わない」ことを宣言します。

平成 30 年 4 月 11 日

大和市気候非常事態宣言

近年の世界的な気候変動は、記録的な猛暑、大型台風、集中豪雨の頻発など、もはや危機と呼ぶべき域に達しています。

この要因とされる地球温暖化について、我が国をはじめとする世界各国は、2015 年のパリ協定以来、温室効果ガス排出量の削減について目標を掲げ取組を進めてきましたが、一刻の猶予も許さぬ地球温暖化の進行の中、より一層の削減強化を表明しているところです。

地球温暖化による危機を乗り越え、生命あふれる地球と大和を未来へとつないでいくため、今この時代に生きる私たち一人ひとりが具体的かつ持続的に行動することが必要です。

本市は、人にも環境にも優しい持続可能なまちづくりを進め、2050 年度までの温室効果ガス排出量実質ゼロの実現を市民、事業者、国及び他自治体などと密接に連携・協力しながら目指すとともに、地球温暖化の中で生じ得る影響から市民を守る施策をより一層推進することを決意し、ここに気候非常事態を宣言します。

令和 4 年 4 月 1 日

目 次

大和市民憲章

大和市教育局・社会教育の基本目標

明るくたくましい青少年が育つ都市宣言

大和市平和都市宣言

「環境立市 大和」宣言

「認知症 1 万人時代に備えるまち やまと」宣言

「70 歳代を高齢者と言わない都市 やまと」宣言

「大和市気候非常事態」宣言

大和市の概要	9
(1) 沿革	
(2) 地勢・位置	
(3) 人口・世帯	

教育行財政	13
-------	----

1. 教育委員会	15
(1) 教育長・委員	
(2) 会議	
(3) 教育委員会表彰	
2. 事務局等	20
(1) 組織図	
(2) 事務分掌	
(3) 所属別・職名別職員一覧表	
3. 大和市の教育振興基本計画	26
4. 令和 8 年度 教育に係る当初予算	28
5. 教育費	29
(1) 一般会計決算額と教育費決算額の推移	
(2) 教育費目的別決算額の推移	
(3) 教育費性質別決算額の推移	

学 校 教 育	31
---------	----

1. 市立学校一覧	34
2. 学校施設の状況	35
3. 保有教室の内訳	36
4. 学校施設の整備状況	37
(1) 校舎等の防音工事	
(2) 耐震補強工事	
(3) 非構造部材の耐震化工事	
(4) 校舎等の増築工事	
(5) 体育館の建替工事	
(6) 体育館空調設置工事	
5. 教 育 指 導	39
(1) 学校訪問	
(2) 研修	

(3) 研究	
(4) 国際教育	
(5) 学校への助成等	
6. 児童・生徒及び教職員の推移	48
(1) 最近5ヶ年の小・中学校別児童生徒数	
(2) 年度別学校職員定数	
(3) 教員の年齢別・男女別一覧	
7. 特別支援学級	51
8. 進路状況	51
9. 日本スポーツ振興センター	52
(1) 掛金等の状況	
(2) 災害発生状況	
10. 就学援助及び特別支援教育就学奨励	53
11. 学校給食	54
(1) 調理方式別による学校数	
(2) 学校給食の内容	
(3) 単独調理校	
(4) 学校給食共同調理場	
(5) 職員構成	
(6) 学校給食運営組織図	
(7) 食数	
(8) 学校給食優良校	
12. 教育研究所	59
(1) 調査研究事業	
(2) 研修事業	
(3) 教育の情報化に関する事業	
(4) 理科・環境教育・総合的な学習の時間に関する事業	
(5) 教育資料に関する事業	
13. 青少年相談室	70
(1) 青少年相談員の活動	
(2) 街頭補導の実施状況	
(3) 青少年相談室の活動	
(4) 青少年相談室の相談受理状況（電話相談・来室相談）	
(5) 県費スクールカウンセラーの派遣と不登校児童生徒支援員の配置	
(6) 教育支援教室「まほろば教室」	
(7) 引地台中学校分教室	

生涯学習	77
-------------	----

社会教育委員	79
--------	----

市内の生涯学習・社会教育等関連施設	81
-------------------	----

○ 文化振興課＜文化財保護＞	83
----------------	----

1. 文化財保護審議会
2. 文化財保護指導委員
3. 文化財保護事業

○ スポーツ×ライフ課 -----	99
1. 体育関係団体の育成	
2. スポーツ活動の活性化	
3. スポーツ行事・教室の開催	
4. スポーツ水準の向上	
5. 体育施設	
○ 図 書 館 -----	123
1. 図書館サービス	
2. 学習センター図書室との連携	
3. 団体貸出事業の推進	
4. 健康に関わる取組	
○ 生涯学習センター -----	137
令和7年度学習センターの利用状況（年間） -----	139
1. 生涯学習	
2. 図書・学び交流課学び交流係	
3. 生涯学習センター（指定管理者：やまとみらい）	
4. つきみ野学習センター（指定管理者：やまとみらい）	
5. 北部文化・スポーツ・子育てセンター（指定管理者：やまとみらい）	
6. 桜丘学習センター（指定管理者：やまとみらい）	
7. 渋谷学習センター（指定管理者：やまとみらい）	
8. 学習センター図書室	
9. ここからマナ☆スタ	
○ 青少年センター -----	205
1. 子ども活動の場づくり	
2. 青少年企画運営イベント	
3. 子どもの体験機会提供	
4. 青少年育成団体活動	
5. 学校・地域・家庭の連携推進	
6. 集計（参考）	
○ その他事業 -----	225
文化振興課＜文化芸術の振興＞ -----	227
公益財団法人大和市スポーツ・よか・みどり財団 -----	233
1. スポーツを通じた心身の健全な育成を目的とする事業の企画及び実施	
2. 文化芸術を振興するための情報発信と活動機会の提供及び協働事業の開催	
3. 地域交流と社会貢献を主たる目的とするスポーツ、文化芸術及び緑化推進に関する活動拠点の管理運営及び整備	
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;">付 録</table> -----	243
教育施設一覧 -----	245
教育年表 -----	254
歴代教育委員会教育長・委員 -----	265

大和市の概要

(1) 沿革

◇原始・古代（紀元前～12 世紀中頃）

大和市内における最古の人類の足跡は、今から約 3 万 5 千年前の旧石器時代（先土器時代）の遺跡で確認されています。市域を流れる引地川、境川に沿った台地上には遺跡が点在し、発掘された石器類は質・量ともに高い評価を得ています。数多くの石器類からは、当時の人々が狩猟中心の生活をしていたことがうかがわれます。

約 1 万 5 千年前、縄文時代になると、気候が温暖化し、動植物なども豊かになり、土器を使い始めた人々は生活が安定し、堅穴式住居に住むようになりました。市内には縄文時代草創期の遺跡があり、日本最古期の土器片や草創期の土器などが出土しています。

古代の市域は大半が相模国高座郡深見郷に含まれていました。平安時代の中頃に編さんされた「延喜式」の神名帳には、相模国の延喜式内社十三座の一つに深見神社が数えられています。また、10 世紀頃の堅穴式住居跡からは、当時の有力者との関連を思わせる石帯や硯などが出土しています。

◇中世（12 世紀中頃～16 世紀中頃）

鎌倉に幕府が開かれた頃、市の南部域は渋谷重国の治める渋谷庄に含まれていたと考えられます。室町時代には市域の鶴間郷が足利直義の領地となり、正平 7 年（1352 年）には南宗継が足利尊氏から市域の和田郷、深見郷の地頭職を与えられました。その後、戦国時代には小田原北条氏が相模国を支配し、市域はその家臣たちによって治められていました。その頃、保田筑後守など 9 人（福田開拓九人衆）が今の福田地域に土着して開墾しています。

古道として知られている滝山街道は、小田原城の重要な支城である玉縄城（鎌倉市）と滝山城（八王子市）を結び、境川沿いにある下鶴間、深見、上和田の城郭址にも近く、小田原北条氏の領国支配上重要な道の一つとされています。

◇近世（16 世紀中頃～19 世紀中頃）

天正 18 年（1590 年）、徳川家康が関東に入国。この頃、市域の村は下鶴間村、深見村、上和田村、下和田村、福田村の 5 か村で、後に深見村から草柳村が分村し、さらに上・下草柳村に分かれました。

各村ごとに検地が行われ、領主に納める年貢の基準となる石高（米穀の生産高）が決められました。また、宗門人別帳の作成などにより、戸数・人口などが調べられ、近世農村としての基礎が固められました。江戸時代後期・文政年間の市域の戸数は 646 戸と記されています。

大山参りの道として利用された矢倉沢往還の宿駅の一つである下鶴間宿には旅籠や茶店などがあり、天保 2 年（1831 年）9 月、渡辺崋山がこの宿に 1 泊し、付近のようすを「游相日記」に書き留めています。また、当時の商家の一軒が下鶴間ふるさと館として現地に復原、保存されています。

◇近代・現代（19 世紀中頃以降）

明治時代以降、神奈川県内の町村は目まぐるしく転換します。市域は明治 4 年（1871 年）、廃藩置県後に神奈川県に所属しました。明治 6 年（1873 年）に行政区画として区・番組制が施行されて以来、2 度の地方制度の変遷を経て、明治 22 年（1889 年）に現在の行政区画の基礎となる町村制が施行され、下鶴間村、深見村、上草柳村、下草柳村が合併して鶴見村に、上和田村、下和田村、福田村は、長後村、高倉村と合併して渋谷村になりました。

その後、鶴見村では分村問題が発生し、それを收拾するため明治24年（1891年）9月、「大いなる和」の願いをこめて村名を大和村と改称。ここに「大和」の名称が誕生しました。

大正15年（1926年）5月に神中鉄道（現在の相模鉄道本線）、昭和4年（1929年）4月には小田原急行鉄道江ノ島線（現在の小田急江ノ島線）が開通したことにより、市域は農村から都市へと姿を変えていきます。昭和17年（1942年）、現在の厚木基地に海軍航空隊が、昭和18年（1943年）には高座海軍工廠の関連施設が設置され軍都の色彩を濃くしていく中で、同年11月3日に大和村が、昭和19年（1944年）11月3日には渋谷村がそれぞれ町制を施行しました。

昭和20年（1945年）、終戦を迎え、連合国軍最高司令官マッカーサー元帥が厚木飛行場に到着。後に同飛行場は米国海軍厚木航空基地となり、基地機能の強化などにより町の様相が大きく変わりました。

昭和30年（1955年）4月、渋谷町の長後、高倉が藤沢市に編入し、福田、上和田、下和田が渋谷村となり、昭和31年（1956年）9月、大和町に渋谷村が合併、昭和34年（1959年）2月1日に県内14番目の市として市制を施行しました。

昭和40年代から市内各所で土地区画整理事業が実施され、昭和45年（1970年）5月には人口が10万人に達しました。昭和51年（1976年）に東急田園都市線がつきみ野駅まで開通し、昭和59年（1984年）には同線が中央林間駅と接続しました。

平成元年（1989年）2月1日には市制施行30周年を迎え、県内の中堅都市として発展を続け、平成12年（2000年）11月1日には、全国初の特例市（現在は施行時特例市）へ移行しました。

(2) 地勢・位置

大和市は神奈川県のおおぼ中央部に位置し、都心から40キロメートル圏内にあります。市域は南北に細長く、丘陵起伏がほとんどありません。

鉄道は市の中央部を東西に相模鉄道本線、南北に小田急江ノ島線が走り、北部には東急田園都市線が乗り入れ、市域に8駅があります。また道路網も国道246号線や国道467号線のほか、県道4線が縦横に走り、東名高速道路横浜町田インターチェンジや海老名ジャンクションにも近いなど、交通の利便性に恵まれています。

東端	東経	139° 28' 50"	南端	北緯	35° 25' 23"
西端	東経	139° 25' 45"	北端	北緯	35° 31' 14"

海拔	市役所位置	66.8m	面積	27.09km ²
最高	91.149m		東西	3.22km
最低	28.328m		南北	9.79km

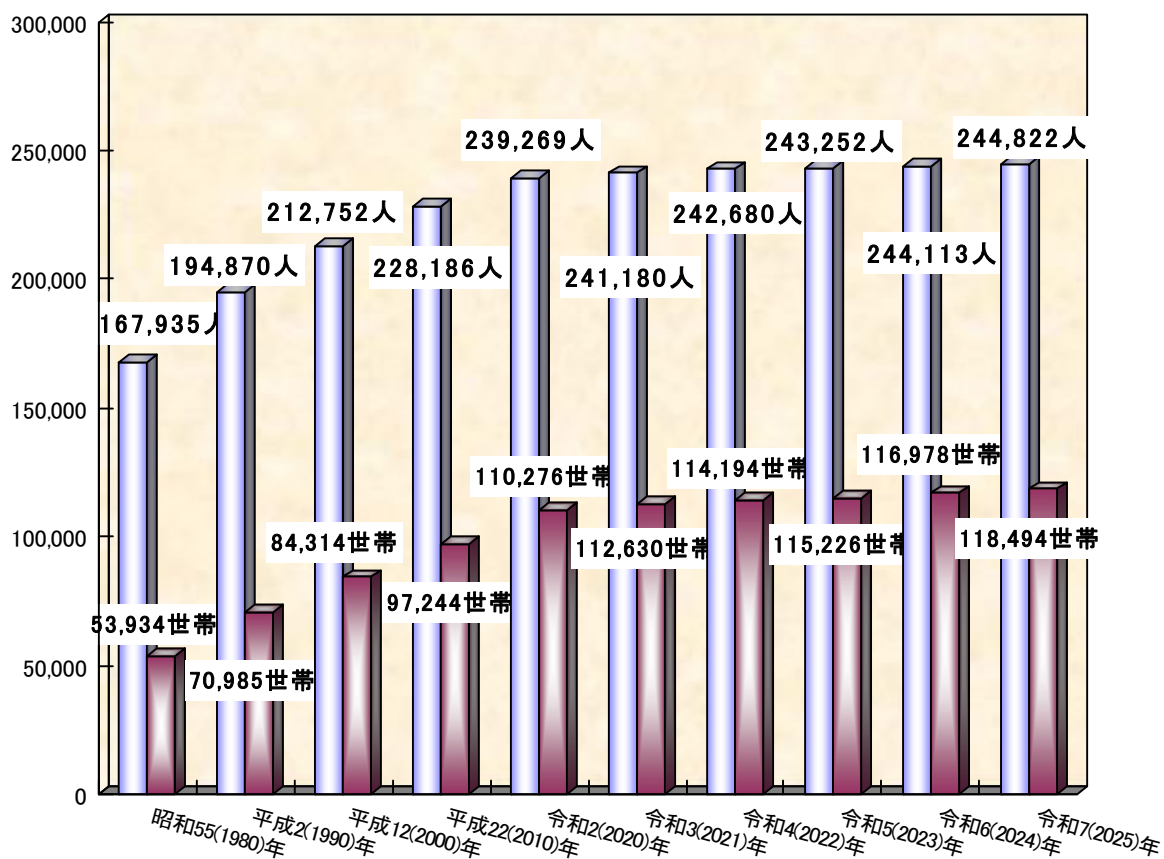
(3) 人口・世帯

令和8年5月1日現在

○人口 245,629人 ○世帯 119,773世帯
○人口密度 9,067人/km²

□人口 □世帯

人口・世帯の推移(各年10月1日現在)



教育行財政



市立光丘中学校屋内運動場空調設備設置工事



市立文ヶ岡小学校屋上外壁改修工事

教育委員会

(1) 教育長・委員



教 育 長
藤 井 明



教育長職務代理者
前 田 良行



委 員
森 園 廣子



委 員
伊 藤 健司



委 員
三 浦 里美

教 育 長 ・ 委 員 名 簿

令和 8 年 5 月 1 日現在

職 名	氏 名	発 令 年 月 日	満了年月日	備 考
教 育 長	藤 井 明	R06. 10. 01	R09. 09. 30	教育長 1 期目
教 育 長 職務代理者	前 田 良 行	H30. 12. 21 (当初)	R08. 12. 20	委員 2 期目
委 員	森 園 廣 子	H29. 10. 01 (当初)	R11. 09. 30	委員 3 期目
委 員	伊 藤 健 司	R06. 12. 09	R10. 12. 08	委員 1 期目
委 員	三 浦 里 美	R06. 12. 09	R10. 12. 08	委員 1 期目

現教育長及び委員の任命は次のとおりです。

藤 井 明	令和 6 年 10 月 1 日～現在
前 田 良 行	平成 30 年 12 月 21 日～令和 4 年 12 月 20 日 令和 4 年 12 月 21 日～現在
森 園 廣 子	平成 29 年 10 月 1 日～令和 3 年 9 月 30 日 令和 3 年 10 月 1 日～令和 7 年 9 月 30 日 令和 7 年 10 月 1 日～現在
伊 藤 健 司	令和 6 年 12 月 9 日～現在
三 浦 里 美	令和 6 年 12 月 9 日～現在

(2) 会 議

会議は、毎月 1 回定例会を開催するほか、必要に応じて臨時会・協議会を開催します。

○教育委員会会議等の開催状況

年度 会議の別	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年
定 例 会	12	12	12	12	12
臨 時 会	1	0	0	1	0
協 議 会	13	13	12	12	12

※ 教育委員会定例会の議案及び会議録は、市のホームページでご覧いただけます。

年度 議決事項	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年
条 例 ・ 規 則	5	10	5	4	6
陳 情 ・ 請 願 等	0	1	0	0	0
人 事	5	3	5	6	4
予 算 ・ 決 算	4	4	5	5	4
報 告	4	7	6	2	1
そ の 他	16	12	17	19	12
合 計	34	37	38	36	27

(3) 教育委員会表彰

昭和 44 年に制定された教育委員会表彰規程に基づき、本市の教育文化の向上のために尽力された個人及び団体の功績を称えるため、原則として毎年 2 月の最終日曜日に表彰しています。

表彰を受けた教育功労者は、次のとおりです。

(順不同、敬称略)

教育委員会表彰教育功労者

【功労表彰 (27 名)】

令和 8 年 2 月 22 日

氏 名	事 績
青 蔭 文雄	教育委員として本市教育行政の充実向上に貢献されました
稲 葉 浩明	本市学校の学校医として児童生徒の健康の保持増進に寄与されました
俵 道 淳	本市学校の学校医として児童生徒の健康の保持増進に寄与されました
岡 田 誠二	本市学校の学校医として児童生徒の健康の保持増進に寄与されました
本 郷 厳生	本市学校の学校医として児童生徒の健康の保持増進に寄与されました
高 橋 良子	書写授業のボランティアとして学校教育の振興発展に寄与されました
阿 部 晴美	本市青少年相談員として青少年の健全育成に寄与されました
保 田 和子	本市青少年相談員として青少年の健全育成に寄与されました
晴 山 信行	本市青少年指導員として青少年の健全育成に寄与されました
笹 本 陽子	本市子ども会連絡協議会の役員として青少年の健全育成に寄与されました
若 槻 よし子	本市スポーツ協会の種目別協会役員として社会体育の振興発展に寄与されました
千 葉 純恵	本市スポーツ協会の種目別協会役員として社会体育の振興発展に寄与されました
飯 森 清一	本市スポーツ協会の種目別協会役員として社会体育の振興発展に寄与されました

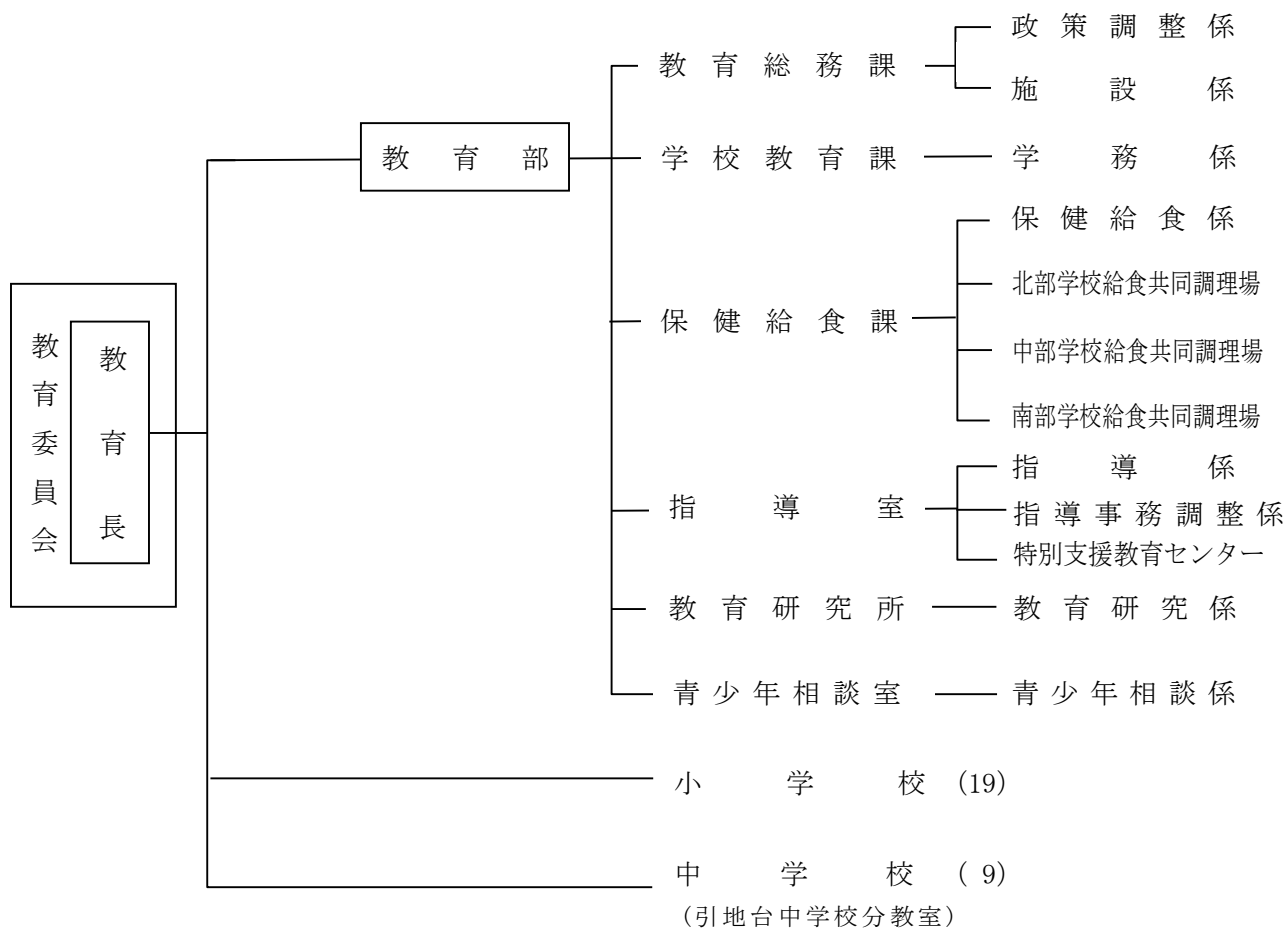
石見 昭三	本市スポーツ協会の種目別協会役員として社会体育の振興発展に寄与されました
志村 哲明	本市スポーツ協会の種目別協会役員として社会体育の振興発展に寄与されました
水谷 暢孝	本市スポーツ協会の種目別協会役員として社会体育の振興発展に寄与されました
田部 岳史	本市スポーツ協会の種目別協会役員として社会体育の振興発展に寄与されました
野口 恒明	本市スポーツ協会の種目別協会役員として社会体育の振興発展に寄与されました
板庇 一郎	本市スポーツ推進委員等として社会体育の振興発展に寄与されました
新田 建一郎	本市スポーツ推進委員等として社会体育の振興発展に寄与されました
壁田 久雄	本市スポーツ推進委員等として社会体育の振興発展に寄与されました
佐藤 幸次	本市スポーツ推進委員等として社会体育の振興発展に寄与されました
山本 訓義	本市社会体育振興委員等として社会体育の振興発展に寄与されました
猪狩 志保	本市社会体育振興委員等として社会体育の振興発展に寄与されました
遠藤 良子	本市社会体育振興委員等として社会体育の振興発展に寄与されました
戸口 ゆかり	本市社会体育振興委員等として社会体育の振興発展に寄与されました
柴田 幹雄	本市社会体育振興委員等として社会体育の振興発展に寄与されました

氏 名	事 績
平野 麻矢	第14回カレッジフラコンペティション2025 ソロ部門 第2位
山口 朋恵	令和九年度全国高等学校総合体育大会「総合ポスター図案部門」最優秀賞
中山 歌帆子	第49回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール 声楽部門大学生の部 第3位
山口 心和	JAPANCUP2025 チアリーディング日本選手権大会 自由演技競技 小学校低学年の部 準優勝 関東チアリーディング選手権大会 自由演技競技 小学校低学年の部 優勝
谷口 満里奈	第93回日本高等学校選手権水泳競技大会 4×100m女子フリーリレー 優勝 第48回全国 JOC ジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会 女子100m 自由形 CS 区分 第3位 第79回国民スポーツ大会（水泳競技） 4×100m 女子メドレーリレー少年A区分 第2位
田村 将遡	日本赤十字社災害義援金チャリティー 2025 国際親善空手道選手権大会 8歳男子+27kg級 第3位 日本赤十字社災害義援金チャリティー 2025 東日本空手道選手権大会 小学3年生男子-30kg級 準優勝
佐野 光琉	文部科学大臣杯第18回 JKJ0 全日本ジュニア空手道選手権大会 フルコンタクト空手 高校男子 60kg 未満の部 第3位
小林 佑輔	文部科学大臣杯第18回 JKJ0 全日本ジュニア空手道選手権大会 フルコンタクト空手 高校男子 70kg 以上の部 第2位
千葉 心海	NPB ガールズトーナメント2025 全日本女子学童軟式野球大会 準優勝
多喜 向日葵	NPB ガールズトーナメント2025 全日本女子学童軟式野球大会 準優勝
大和ファルコン（実年）	第19回東日本ミズノ杯実年ソフトボール大会 ブロック1位決勝トーナメント 第3位
南林間中学校卓球部	令和7年度関東中学校体育大会 第53回関東中学校卓球大会 男子団体戦 第3位
大和スマタグ	2025年全日本ジュニア・ユース綱引選手権大会 女子ユース 500kg 以下 第2位
中福田ファイターズ	2025年全日本ジュニア・ユース綱引選手権大会 共通ジュニア 300kg 以下 第3位

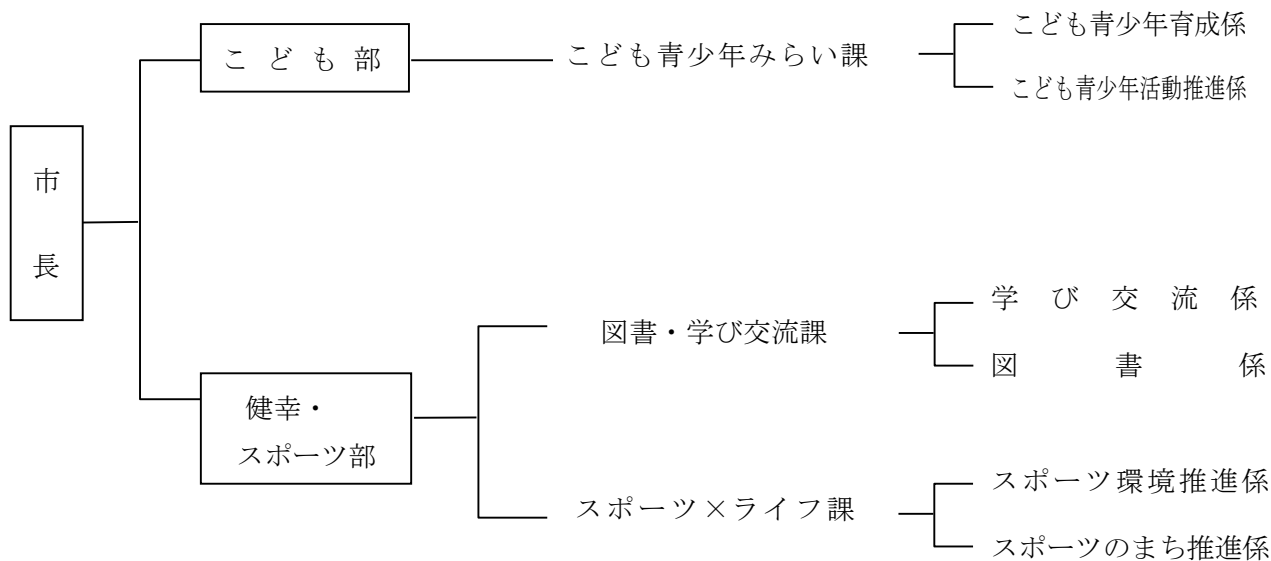
2. 事務局等

(1) 組織図

(令和8年4月1日現在)



(以下、大和市教育委員会の権限に属する事務を補助執行する部局等を参考として掲載)



教育部

教育総務課

- ① 教育委員会の会議に関すること。
- ② 教育委員会の秘書及び交際に関すること。
- ③ 教育委員会の儀式及び表彰に関すること。
- ④ 教育行政の総合的企画及び調整に関すること。
- ⑤ 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること。
- ⑥ 事務局、学校及び所管機関の職員（県費負担教職員（以下「教職員」という。）を除く。）の人事及び給与に関すること。
- ⑦ 非常勤特別職職員の委嘱及び解嘱に関すること。
- ⑧ 公印の管理に関すること。
- ⑨ 法制に関すること。
- ⑩ 例規に関すること。
- ⑪ 行政文書の公開に関すること。
- ⑫ 個人情報保護に関すること。
- ⑬ 教育に関する統計調査（他課に属するものを除く。）及び広報に関すること。
- ⑭ 児童生徒の推計に関すること。
- ⑮ 教育部内の文書の発収及び保存に関すること。
- ⑯ 教育関係予算の総括に関すること。
- ⑰ 教育部内の庶務に関すること。
- ⑱ 教育部内の事務事業の調整及び会議に関すること。
- ⑲ 教育部内の施策の総合調整に関すること。
- ⑳ 教育行政に関する相談に関すること。
- ㉑ 学校施設の整備に係る調査及び企画に関すること。
- ㉒ 学校施設の整備及び維持管理に関すること。
- ㉓ 学校施設の営繕に関すること。
- ㉔ 学校施設の工事の監督（他に委託するものを除く。）に関すること。
- ㉕ 学校施設台帳の整備に関すること。
- ㉖ 学校管理物品の整備に関すること。
- ㉗ 学校施設の使用申請等に関すること。
- ㉘ 大和市土地開発公社との連絡に関すること。
- ㉙ 教育部の所掌に係る国及び県の補助金、委託金及び負担金の申請、調査、請求及び報告に関すること。
- ㉚ 教育部の所掌に係る徴収金の調定及び徴収に関すること。
- ㉛ 教育機関（教育部が所掌するものに限る。）に係る契約を結ぶこと。
- ㉜ 教育機関（教育部が所掌するものに限る。）に係る物品の売却その他の処分に関すること。
- ㉝ 教育機関（教育部が所掌するものに限る。）に係る寄附金等の受入れに関すること。
- ㉞ 教育部の所掌に係る議案（予算を除く。）の作成及び議案につき、市議会において説明すること。
- ㉟ ㉙～㉞に掲げるもののほか、教育部の所掌に係る予算についての支出負担行為、支出命令その他予算執行に関すること。

学校教育課

- ① 教職員の任免、服務その他人事に関する事。
- ② 教職員の人事評価に関する事。
- ③ 教職員の福利厚生に関する事。
- ④ 学校の組織及び学級編制に関する事。
- ⑤ 学齢簿の編制、整備並びに保管に関する事。
- ⑥ 児童生徒の就学並びに入学、転学及び退学に関する事。
- ⑦ 就学の猶予及び免除に関する事。
- ⑧ 通学区域の設定及び変更に関する事。
- ⑨ 就学援助に関する事。
- ⑩ 奨学金に関する事。
- ⑪ 生徒運賃割引証に関する事。
- ⑫ 学校基本調査及び進路状況調査に関する事。

保健給食課

- ① 学校保健に係る調査及び企画に関する事。
- ② 児童生徒及び教職員等の保健衛生に関する事。
- ③ 就学時健康診断に関する事。
- ④ 独立行政法人日本スポーツ振興センターに関する事。
- ⑤ 医療費援助及びめがね購入費補助に関する事。
- ⑥ 学校給食施設の整備計画に関する事。
- ⑦ 学校給食の管理指導に関する事。
- ⑧ 給食用物資の購入計画に関する事。
- ⑨ 学校給食共同調理場の運営管理に関する事。
- ⑩ 栄養指導センターに関する事。
- ⑪ 学校給食共同調理場運営協議会に関する事。

指導室

- ① 教科、道徳、特別活動等の指導助言に関する事。
- ② 教科用図書その他の教材等の取扱い、研究及び指導に関する事。
- ③ 教科用図書の採択に関する事。
- ④ 教職員の研修に関する事。
- ⑤ 児童生徒の事故に関する事。
- ⑥ 特別支援学級入級に関する事。
- ⑦ 学校行事予定に関する事。
- ⑧ 校外行事及び振替授業に関する事。
- ⑨ 学校教育振興に係る調査研究に関する事。
- ⑩ 教材教具及び学校図書館図書整備に関する事。
- ⑪ 教育相談指導に関する事。
- ⑫ 児童・生徒指導に関する事。
- ⑬ 教育研究所との連絡調整に関する事。

所管機関

教育研究所

- ① 研究所の管理運営に関すること。
- ② 教育の研究調査に関すること。
- ③ 教育図書及び教育資料に関すること。
- ④ 研究調査成果の発表及び出版に関すること。
- ⑤ 教育関係職員等の研修に関すること。
- ⑥ 教育活動の支援に関すること。
- ⑦ 教育史料の収集と刊行に関すること。
- ⑧ 教育の情報化に関すること。
- ⑨ 理科学習及び総合的な学習の推進に関すること。
- ⑩ その他教育研究所の庶務に関すること。

青少年相談室

- ① 青少年相談に関すること。
- ② 教育相談に関すること。
- ③ 不登校児童生徒の支援に関すること。
- ④ 教育支援教室に関すること。
- ⑤ 街頭補導及び継続補導に関すること。
- ⑥ 社会環境浄化活動に関すること。
- ⑦ 相談及び補導に関する統計並びに諸報告に関すること。
- ⑧ 相談室の管理運営に関すること。
- ⑨ その他相談室内の庶務に関すること。

学校給食共同調理場

- ① 給食の調理及び配送に関すること。
- ② 給食用物質の発注及び検収に関すること。
- ③ 食器、食かん等の洗浄、消毒及び保管に関すること。
- ④ 献立の作成、調理指導及び栄養の調査研究に関すること。
- ⑤ 衛生管理に関すること。
- ⑥ 学校給食共同調理場内（栄養指導センターを含む。）の維持管理に関すること。
- ⑦ その他学校給食共同調理場内の庶務に関すること。

特別支援教育センター

- ① 通級指導教室に関すること。
- ② 教育支援教室に関すること。
- ③ 教育相談及び教育指導に関すること。
- ④ 教育支援委員会に関すること。
- ⑤ 教職員の研修に関すること。
- ⑥ 特別支援教育センター内の維持管理に関すること。
- ⑦ その他特別支援教育センター内の庶務に関すること。

(以下は、大和市教育委員会の権限に属する事務を補助執行させるもの)

こども部

こども青少年みらい課

- ① 青少年教育に係る調査及び企画に関すること。
- ② 青少年教育施設の整備計画に関すること。
- ③ 青少年関係団体の指導及び育成に関すること。
- ④ 青少年指導者の育成に関すること。
- ⑤ 青少年を対象とする集会、講座、研修等の開催、指導助言及び育成に関すること。

健幸・スポーツ部

図書・学び交流課

- ① 社会教育の総合的な企画調整に関すること。
- ② 社会教育に係る調査及び企画に関すること。
- ③ 社会教育施設の整備計画に関すること。
- ④ 社会教育指導者の育成に関すること。
- ⑤ 社会教育に係る講座、討論会、講習会、講演会、展示会その他の集会に関すること。
- ⑥ 社会教育に対する支援に関すること。
- ⑦ 社会同和教育に係る啓発に関すること。
- ⑧ ユネスコ活動に関すること。
- ⑨ 社会教育委員に関すること。
- ⑩ 学習機会提供の総合管理に関すること。
- ⑪ 学校施設の使用による生涯学習の振興に関すること。
- ⑫ 生涯学習センター関係機関との連絡調整に関すること。
- ⑬ 地域を対象とする講座、展示会その他各種集会に関すること。
- ⑭ 読書活動の総合的な企画調整に関すること。

スポーツ×ライフ課

- ① 学校体育施設のスポーツ開放に関すること。

(3) 所属別・職名別職員一覧表

令和8年4月1日現在

職名別 所属別	実数の内訳							左のうち管理職						
	事務職員	指導主事	技術職員	技能職員	用務員	再任用職員	合計実人数	部長	課長	室長	所長	場長	主幹	主任指導主事
教育部	35	10	4	2		4	55	1	3	1				1
教育総務課	14		2	2		2	20		1					
学校教育課	4	2					6		1					
保健給食課	8		2				10		1					
指導室	8	8				2	18			1				1
所管機関	10	11	3				24			1	1	3		3
教育研究所	3	4					7				1			1
青少年相談室	2	2					4			1				1
北部学校給食共同調理場	1		1				2					1		
中部学校給食共同調理場	1		1				2					1		
南部学校給食共同調理場	1		1				2					1		
特別支援教育センター	2	5					7							1
小学校					5	9	14							
中学校					2	3	5							
合計	45	21	7	2	7	16	98	1	3	2	1	3		4

3. 大和市の教育振興基本計画

教育委員会では、令和7年度～11年度を計画期間とした、「大和市学校教育基本計画」と「大和市生涯学習推進計画」を策定しました。

これら2つの計画は、「大和市総合計画」の個別計画として位置づけ、他の計画と整合を図りながら、施策を推進します。

また、併せて教育基本法で規定された地方公共団体が策定する「教育振興基本計画」を担うものです。

(1) 大和市学校教育基本計画

【基本理念】

「未来を切り拓いて生きていく力を育む学校教育」

【基本理念実現のための3つのキーワード】



基本目標

基本目標 1

多様性を尊重し、
人や社会とつながる力を
育みます

基本目標 2

新しい時代に求められる
資質・能力を育みます

基本目標 3

安全安心な環境を整え、
健康な心身を育みます

施策の方向

基本目標 1

- 1 互いを尊重し、認め合う学校づくりの推進
- 2 一人ひとりに応じた不登校対策の充実
- 3 支援の必要な児童生徒への適切な教育の推進
- 4 地域と協働した学校教育の推進

基本目標 2

- 1 学習過程を改善し質の高い学びを実現する取り組みの推進
- 2 想像力を育む読書活動の推進
- 3 豊かな人間性を育む体験学習の充実
- 4 本市の教育課題に対応した研究・研修の実施
- 5 教育 ICT 環境の整備及び利活用の推進

基本目標 3

- 1 健康な心身を育成する健康教育の推進
- 2 健康な心身を育成する食育の推進
- 3 安全安心で、落ち着いて学べる学校の環境づくりの推進
- 4 教職員が働きやすい環境づくりの推進

(2) 大和市生涯学習推進計画

本計画では「豊かな心を育む生涯学習のまち」をめざして、3つの施策目標と11の個別目標のもと、生涯学習社会の構築を進めていくものとします。

第10次大和市総合計画

将来都市像：みんながつながる健幸都市やまと

将来都市像実現に向けた目標1
いつまでもみんなが元気でいられるまち

大和市生涯学習推進計画

～豊かな心を育む生涯学習のまちをめざして～

施策目標1 誰もがいつでも気軽に学習できる場を提供します

- 個別目標1-(1) 市民一人ひとりにとっての「居場所」の提供
- 個別目標1-(2) 生涯各期に合わせた学習機会の提供
- 個別目標1-(3) 多様な学習ニーズや家庭教育支援など現代的課題に合わせた学習機会の提供
- 個別目標1-(4) 健やかな心身を育成するスポーツや健康に関する学習機会の提供
- 個別目標1-(5) 創造力と感性を育む芸術・文化や郷土の歴史・伝統文化に関する学習機会の提供

施策目標2 学習を通じて人と人とのつながりを創出し、交流の輪を広げます

- 個別目標2-(1) 情報提供や学習相談による支援
- 個別目標2-(2) 人材や団体の育成と活用に関する支援
- 個別目標2-(3) 学習による市民相互の交流への支援

施策目標3 学習のための環境や仕組みの充実を図ります

- 個別目標3-(1) 学習施設の適切な維持管理・機能の充実
- 個別目標3-(2) 支援・推進体制の充実
- 個別目標3-(3) 関係機関との連携推進

市民の学びによる充足感を満たすためには、さまざまな学習機会の提供や施設の整備をすることが必要であり、学んだことを地域の活動へと広げていくことも大切です。

3つの施策目標を達成させるために、それぞれに個別目標を設け、具体的な計画のもとで事業を展開していきます。

計画の進捗管理にあたっては、事業の参加人数など数値目標を設定し到達度を測定するなど、定量的な評価が中心となります。

一方で、生涯学習分野においては、学習の質や長期的な学習の成果など、定量的な評価が困難なものも多いことから、定量的な評価に加え有識者の意見を反映させる機会を設けるなど、定量的な評価と定性的な評価を両立させることで、適切な評価に努めていきます。

4. 令和8年度 教育に係る当初予算

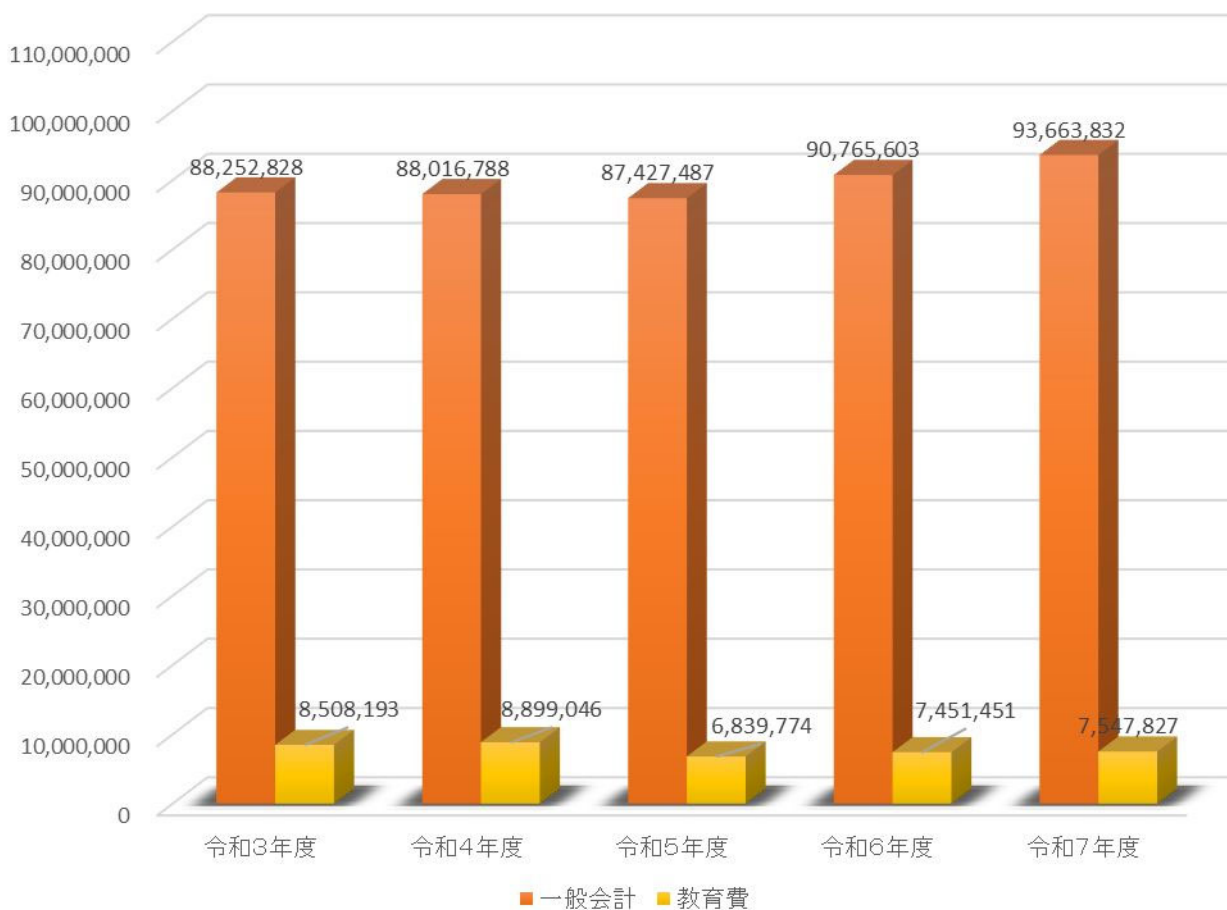
(単位：千円)

	令和8年度	令和7年度	比較
一 般 会 計	96,892,000	94,424,484	2,467,516
10 教 育 費	9,376,245	7,933,329	1,442,916
1 教 育 総 務 費	1,971,638	1,903,014	68,624
2 小 学 校 費	2,355,413	1,754,799	600,614
3 中 学 校 費	1,142,180	1,041,307	100,873
4 社 会 教 育 費	1,232,980	1,203,388	29,592
1 社会教育総務費	220,279	215,054	5,225
2 青少年育成費	37,084	40,852	△ 3,768
3 公 民 館 費	336,674	347,358	△ 10,684
4 図 書 館 費	597,558	557,719	39,839
5 文化財保護費	41,385	42,405	△ 1,020
5 保 健 体 育 費	2,674,034	2,030,821	643,213
1 保健体育総務費	461,023	361,989	99,034
2 学校給食管理費	2,213,011	1,668,832	544,179

5. 教育費

(1) 一般会計決算額と教育費決算額の推移

グラフ中の数字は実額（単位千円）
（令和7年度分は見込額）



(%)

教育費の一般会計に占める割合	
令和 3 年度	9.6
令和 4 年度	10.1
令和 5 年度	7.8
令和 6 年度	8.2
令和 7 年度	8.1

(%)

対 前 年 比		
年度	一般会計	教育費
令和 3 年度	△ 13.8	△ 3.3
令和 4 年度	△ 0.3	4.6
令和 5 年度	△ 0.7	△ 23.1
令和 6 年度	3.8	8.9
令和 7 年度	3.2	1.3

(2) 教育費目的別決算額の推移

() は構成比 (%) (単位 : 千円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 見込額
教育総務費	1,718,790 (20.2)	1,894,665 (21.3)	1,751,830 (25.6)	1,942,191 (26.1)	1,826,432 (24.2)
小学校費	1,764,628 (20.7)	1,695,427 (19.0)	1,296,380 (19.0)	1,654,333 (22.2)	1,570,566 (20.8)
中学校費	2,107,983 (24.8)	2,083,552 (23.4)	693,092 (10.1)	758,951 (10.2)	939,338 (12.4)
社会教育費	1,464,696 (17.2)	1,645,116 (18.5)	1,217,849 (17.8)	1,187,853 (15.9)	1,185,653 (15.7)
保健体育費	1,452,096 (17.1)	1,580,286 (17.8)	1,880,623 (27.5)	1,908,123 (25.6)	2,025,839 (26.8)
合 計	8,508,193 (100.0)	8,899,046 (100.0)	6,839,774 (100.0)	7,451,451 (100.0)	7,547,827 (100.0)

(3) 教育費性質別決算額の推移

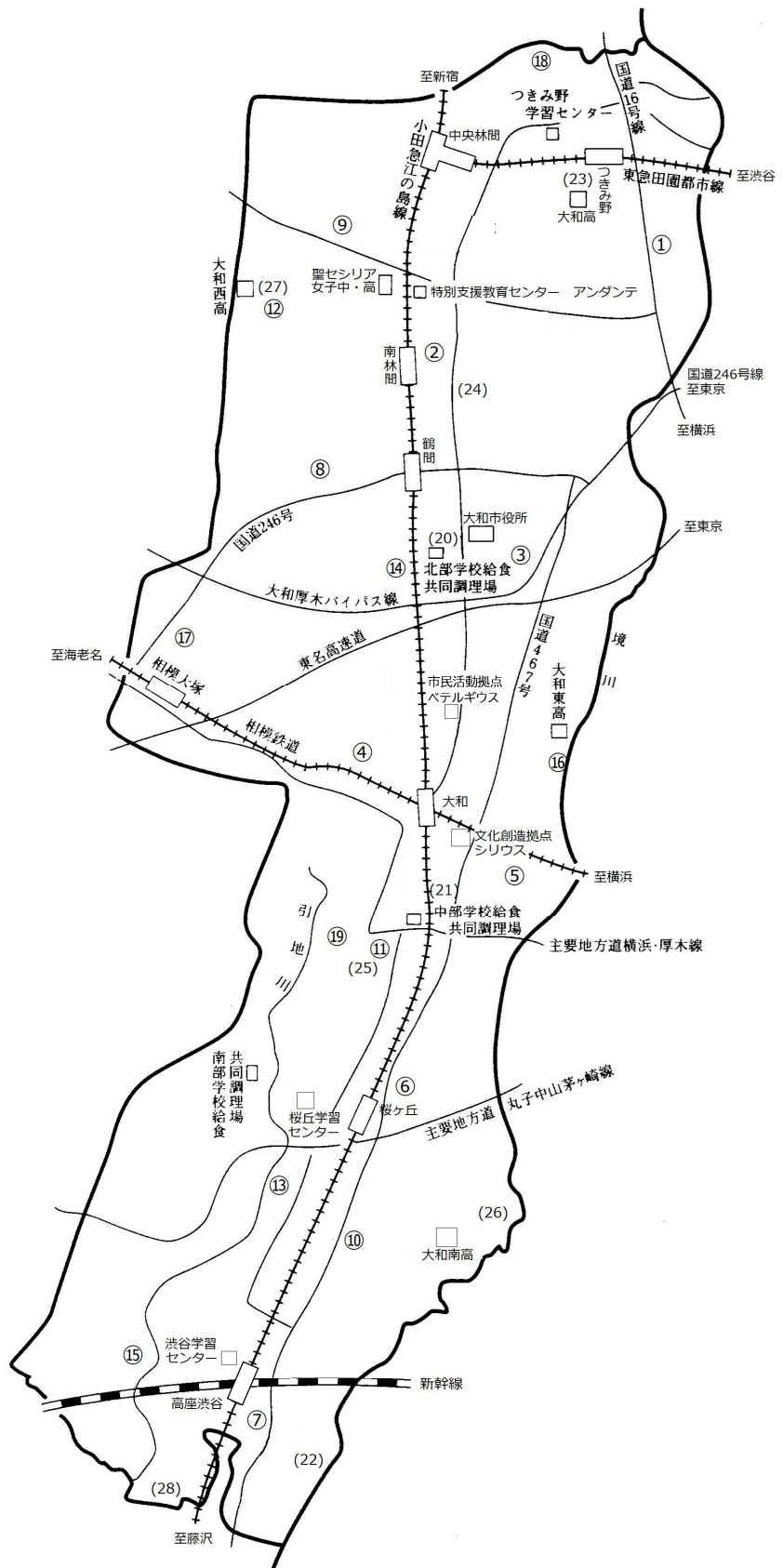
() は構成比 (%) (単位 : 千円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 見込額
人 件 費	1,714,305 (20.2)	1,726,456 (19.5)	1,748,419 (25.6)	1,875,709 (25.2)	1,842,371 (24.4)
物 件 費	3,379,756 (39.7)	3,871,559 (43.5)	3,571,234 (52.2)	3,772,246 (50.6)	3,745,329 (49.6)
補助費等	104,308 (1.2)	194,260 (2.2)	308,724 (4.5)	303,379 (4.1)	194,050 (2.6)
維持補修費	110,726 (1.3)	128,475 (1.4)	137,964 (2.0)	188,687 (2.5)	232,185 (3.1)
扶 助 費	304,395 (3.6)	290,258 (3.3)	274,995 (4.0)	257,669 (3.5)	420,648 (5.6)
普通建設 事業費	2,893,589 (34.0)	2,687,923 (30.2)	798,167 (11.7)	1,053,310 (14.1)	1,111,931 (14.7)
補助事業	1,421,586 (16.7)	1,090,848 (12.3)	595,671 (8.7)	420,830 (5.6)	536,144 (7.1)
単独事業	1,472,003 (17.3)	1,597,075 (17.9)	202,496 (3.0)	632,480 (8.5)	575,787 (7.6)
そ の 他	1,114 (0.0)	115 (0.0)	271 (0.0)	451 (0.0)	1,313 (0.0)
合 計	8,508,193 (100.0)	8,899,046 (100.1)	6,839,774 (100.0)	7,451,451 (100.0)	7,547,827 (100.0)

学 校 教 育

学校教育施設位置図

- ① 北大和小学校
- ② 林間小学校
- ③ 大和小学校
- ④ 草柳小学校
- ⑤ 深見小学校
- ⑥ 桜丘小学校
- ⑦ 渋谷小学校
- ⑧ 西鶴間小学校
- ⑨ 緑野小学校
- ⑩ 上和田小学校
- ⑪ 柳橋小学校
- ⑫ 南林間小学校
- ⑬ 福田小学校
- ⑭ 大野原小学校
- ⑮ 下福田小学校
- ⑯ 大和東小学校
- ⑰ 文ヶ岡小学校
- ⑱ 中央林間小学校
- ⑲ 引地台小学校
- (20) 大和中学校
- (21) 光丘中学校
- (22) 渋谷中学校
- (23) つきみ野中学校
- (24) 鶴間中学校
- (25) 引地台中学校
・引地台中学校分教室
- (26) 上和田中学校
- (27) 南林間中学校
- (28) 下福田中学校



1. 市立学校一覧

(令和8年5月1日現在)

小 中 別	学 校 名	創立年月日	校 長 名	職員数・児童生徒数 (定数)				学級数	開校記念日
				県費 職員	市費 職員	計	児 童 生徒数		
小 <									

※引地台中学校は、引地台中学校分教室を含む。

2. 学校施設の状況

(令和8年5月1日現在・単位：㎡)

区分 学校名	校地面積	運動場	建物敷地	校舎面積	内 訳				武道場	体育館	プ ー ル
					鉄筋コン クリート 造	鉄 骨 造	木 造	そ の 他 造			
北 大 和 小	16,429	9,093	7,336	8,267	8,204	43	20	0	0	989	
林 間 小	17,114	8,949	8,165	6,929	6,506	423	0	0	0	945	
大 和 小	22,506	11,455	11,051	6,388	6,112	276	0	0	0	1,360	F R P (25m×13m)
草 柳 小	17,603	9,155	8,448	5,154	5,105	49	0	0	0	913	コンクリート造 (25m×13m)
深 見 小	15,086	7,159	7,927	4,819	4,710	109	0	0	0	913	鋼板造 (25m×13m)
桜 丘 小	15,192	5,526	9,666	4,952	4,842	90	20	0	0	913	コンクリート造 (25m×13m)
渋 谷 小	14,764	6,984	7,780	6,327	6,048	279	0	0	0	968	F R P (25m×13m)
西 鶴 間 小	17,389	9,549	7,840	4,646	4,545	101	0	0	0	690	コンクリート造 (25m×13m)
緑 野 小	14,033	4,023	10,010	5,923	5,842	81	0	0	0	813	F R P (25m×13m)
上 和 田 小	14,687	8,740	5,827	5,052	4,977	75	0	0	0	666	鋼板造 (25m×13m)
柳 橋 小	12,781	7,523	5,258	6,699	6,608	91	0	0	0	686	
南 林 間 小	14,503	6,609	7,894	5,339	5,265	74	0	0	0	666	アルミ造 (25m×13m)
福 田 小	13,554	8,002	5,552	5,703	5,626	77	0	0	0	666	アルミ造 (25m×13m)
大 野 原 小	13,161	7,125	5,916	5,636	5,545	91	0	0	0	666	アルミ造 (25m×13m)
下 福 田 小	14,381	7,136	7,040	5,320	5,200	120	0	0	0	729	アルミ造 (25m×13m)
大 和 東 小	12,598	5,563	5,970	4,495	4,416	79	0	0	0	715	アルミ造 (25m×13m)
文 々 岡 小	12,090	6,578	5,505	4,220	4,133	87	0	0	0	727	アルミ造 (25m×13m)
中央林間小	13,514	5,908	7,606	6,736	6,736	0	0	0	0	715	アルミ造 (25m×13m)
引 地 台 小	13,658	7,662	5,996	4,295	4,141	154	0	0	0	729	ステンレス造 (25m×13m)
小 計	285,043	142,739	140,787	106,900	104,561	2,299	40	0	0	15,469	
大 和 中	30,460	18,661	11,799	6,657	6,487	170	0	0	0	970	
光 丘 中	27,236	14,496	12,740	11,803	11,775	28	0	0	1,071	1,569	ステンレス造 (25m×13m)
渋 谷 中	15,717	7,726	7,991	10,011	10,011	0	0	0	1,032	1,110	F R P (25m×13m)
つきみ野中	20,496	10,097	10,399	7,505	7,177	328	0	0	809	1,314	ステンレス造 (25m×13m)
鶴 間 中	20,074	10,184	8,777	5,648	5,560	88	0	0	0	925	
引 地 台 中	20,658	8,713	11,494	7,010	6,930	80	0	0	0	925	
上 和 田 中	16,183	8,280	7,903	5,711	5,651	60	0	0	0	932	
南 林 間 中	16,381	9,171	7,210	6,469	6,410	59	0	0	0	937	
下 福 田 中	23,610	7,975	12,831	7,346	7,308	38	0	0	796	924	ステンレス造 (25m×13m)
小 計	190,815	95,303	91,144	68,160	67,309	851	0	0	3,708	9,606	
合 計	475,858	238,042	231,931	175,060	171,870	3,150	40	0	3,708	25,075	

3. 保有教室の内訳

(令和8年5月1日現在)

学校名 \ 区分	普通教室	理科室	生活室	音楽室	図画工作室	家庭科室	視聴覚室	P C 室	図書室	特別活動室	相談室	プレイルーム	ランチルーム	ことばの教室	総合・少人数等学習室	多目的室	会議室	児童会室等	国際室	オープンルーム	教材室
北大和小	40	2	0	1	1	1	0	0	2	1	3	1	0	0	3	1	1	0	1	0	5
林間小	38	1	0	1	1	1	0	0	2	2	1	0	0	2	2	2	1	0	1	0	5
大和小	34	1	0	2	2	1	0	1	3	3	4	1	0	0	1	0	1	1	1	0	2
草柳小	16	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	0	1	2	2	1	1	0	1
深見小	23	1	0	1	1	1	0	0	2	1	1	0	0	0	2	1	1	0	1	0	2
桜丘小	18	1	0	1	1	1	0	0	1	2	3	0	1	0	0	1	2	0	1	0	2
渋谷小	25	1	0	1	1	1	0	0	1	0	2	1	0	2	2	1	1	0	2	0	2
西鶴間小	27	1	0	1	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3
緑野小	33	1	0	1	1	1	0	0	1	1	2	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1
上和田小	13	1	0	1	1	1	1	0	2	1	1	1	0	0	2	1	1	1	1	0	0
柳橋小	20	1	0	1	1	1	1	1	1	1	0	1	0	0	1	2	1	1	1	0	1
南林間小	22	1	0	1	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	2	0	0	0	2
福田小	22	1	0	1	1	1	0	1	1	1	1	1	0	0	0	5	2	0	1	0	2
大野原小	30	1	0	1	1	1	0	0	1	1	1	0	0	0	3	0	1	1	1	0	0
下福田小	23	1	0	1	1	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	1	2	0	1	0	3
大和東小	22	1	0	1	1	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2
文ヶ岡小	18	1	0	1	1	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	2	1	0	1	0	2
中央林間小	31	1	0	1	1	1	0	0	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6
引地台小	14	1	0	1	1	1	0	0	1	1	2	0	0	0	1	1	1	0	1	0	2
計	469	20	1	20	20	19	3	3	25	21	29	9	2	4	20	22	20	6	18	0	47
学校名 \ 区分	普通教室	理科室	音楽室	美術室	技術室	家庭科室	視聴覚室	P C 室	図書室	特別活動室	教育相談室	P C 研究室	会議室	多目的室	学習室	国際室	生徒会室	プレイルーム	少人数学習室	研究室	教材室
大和中	25	2	2	2	2	2	1	0	1	0	2	1	4	1	1	1	1	0	2	0	1
光丘中	30	2	2	2	3	2	1	1	1	0	3	0	5	2	1	1	1	0	0	0	5
渋谷中	13	2	1	1	3	2	1	0	1	1	1	0	2	3	1	1	1	0	0	0	4
つきみ野中	32	2	2	2	2	2	0	0	1	0	2	0	0	2	0	0	1	0	0	0	1
鶴間中	15	2	1	1	2	2	0	0	1	0	1	0	0	2	1	1	1	0	0	0	1
引地台中	22	2	2	2	2	2	1	0	1	0	2	0	1	2	2	1	1	0	0	0	2
上和田中	16	2	2	2	1	2	0	0	2	0	3	0	2	0	3	1	1	1	0	0	5
南林間中	25	2	1	1	1	2	1	0	1	0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	0	3
下福田中	13	3	1	1	2	2	1	0	1	1	2	0	1	4	0	0	1	0	0	1	4
計	191	19	14	14	18	18	6	1	10	2	18	1	15	18	9	7	9	1	2	1	26

4. 学校施設の整備状況

(1) 校舎等の防音工事

大和市は、米海軍厚木基地に隣接しているため、航空機の騒音により学校の授業が中断されるなど教育面に大きな影響を受けています。そこで、これらの被害を軽減するため国の騒音防止対策事業によって、全校舎防音工事が施されています。

平成 30 年度 下福田中学校復旧温度保持除湿工事を実施。
 令和元年度 大野原小学校復旧防音及び大規模改修工事を実施。
 令和 3 年度 文ヶ岡小学校復旧温度保持除湿工事を実施。
 鶴間中学校復旧防音及び大規模改修工事を実施。
 令和 4 年度 引地台中学校復旧防音及び大規模改修工事を実施。
 令和 6 年度 緑野小学校復旧温度保持除湿工事を実施。

事業実績

(単位：千円)

年度	事業名	事業費	財源内訳		
			文科補助金	防衛補助金	一般財源他
30	下福田中学校復旧温度保持除湿工事	315,257	0	231,531	83,726
元	大野原小学校復旧防音及び大規模改修工事	985,478	134,057	332,136	519,285
3	文ヶ岡小学校復旧温度保持除湿工事	204,990	0	167,769	37,221
	鶴間中学校復旧防音及び大規模改修工事	1,189,897	77,603	376,604	735,690
4	引地台中学校復旧防音及び大規模改修工事	1,448,055	89,277	381,816	976,962
6	緑野小学校復旧温度保持除湿工事	270,610	0	210,812	59,798

(補助金の根拠法令) 防衛省 : 防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律
 文部科学省 : 義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律

(2) 耐震補強工事

校舎等の耐震性能の向上を図ることにより、教育環境の安全を守るとともに、地域防災計画にある避難所として、より効率的な役割を果たします。

① 校舎の耐震補強工事

平成 7 年度から平成 14 年度までに完了しました。

② 体育館の耐震補強工事

カマボコ型屋根を除き、平成 11 年度から平成 18 年度までに完了しました。

カマボコ型屋根体育館は、平成 22 年度までに建替え工事が完了しました。

※平成 22 年度を以って、市立小中学校全ての校舎及び体育館の耐震化率が 100%となりました。

(3) 非構造部材の耐震化工事

体育館・武道場などの屋内運動場等について非構造部材の耐震化を図ることにより、教育環境の安全を守るとともに、地域防災計画にある避難所として、より効率的な役割を果たします。

屋内運動場等の非構造部材の耐震化は、平成 28 年度までに完了しました。

(4) 校舎等の増築工事

児童数の増加に伴う教室不足を解消し、快適な教育環境を確保します。

令和元年度 北大和小学校増築工事を実施。

令和3年度 中央林間小学校増築工事を実施。

事業実績

(単位：千円)

年度	事業名	事業費	財源内訳		
			文科補助金	防衛補助金	一般財源他
元	北大和小学校増築工事	1,098,052	294,744	84,589	718,719
3	中央林間小学校増築工事	662,429	169,856	52,558	440,015

(補助金の根拠法令) 防衛省 : 防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律
文部科学省 : 義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律

(5) 体育館の建替工事

児童数増加に伴う体育館の必要面積の不足を解消し、快適な教育環境を確保します。

令和4年度 北大和小学校体育館建替工事を実施。

事業実績

(単位：千円)

年度	事業名	事業費	財源内訳		
			文科補助金	防衛補助金	一般財源他
4	北大和小学校体育館建替工事	594,673	47,364	0	547,309

(補助金の根拠法令) 文部科学省 : 義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律

(6) 体育館空調設置工事

災害時の避難所となる体育館に、空調設備を設置します。

令和7年度 光丘中学校、つきみ野中学校、鶴間中学校、南林間中学校の体育館に空調設備設置工事を実施。

事業実績

(単位：千円)

年度	事業名	事業費	財源内訳		
			文科補助金	防衛補助金	一般財源他
7	市立光丘中学校ほか3校 屋内運動場空調設備設置工事	273,397	102,097	0	171,300

(補助金の根拠法令) 文部科学省 : 義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律

5. 教育指導

指導室の重点目標 魅力ある学校教育の創出 ～学びの本質を問いなおす～

大和市学校教育基本計画の構想の趣旨を受け、「共生」を土台とし、「主体性」「想像・創造性」という観点から学校教育の充実を図るとともに、次期学習指導要領を見据えた準備や現在取り組んでいる活動の再認識、整理、深化を行っていきます。

「変化の激しい予測困難な時代」と言われる中だからこそ、自らさまざまな価値観や目標をつくり、行動する能動的な人を育む教育の向上を求めて取り組んでまいります。

(1) 学校訪問

教育課程、学習指導、児童生徒指導、その他学校教育に関する専門的事項について指導助言を行うとともに、学校教育全般にわたる諸問題を把握し、本市教育の充実に努めます。

1. 計画訪問

(1) 実施期間及び実施回数 5月～7月 小・中学校とも全体会1回

(2) 内 容

協議会	◎指導室より、重点施策について説明する。 ◎校長・教頭とともに、協議を行う。 ①学校経営方針 ②教育課程 ③学校で重点を置く課題 ④指導室で設定するテーマ
-----	--

2. 要請訪問

(1) 実施期間及び実施回数 6月～2月まで 原則、1回実施（希望があれば複数回実施可能）

(2) 内 容

授業研究	◎授業実践に関する指導助言を行う。（指導案作成、授業実践前後の指導助言など） ◎校内研究に関する指導助言を行う。（推進委員会や校内研修会の指導助言など） ◎研究発表に関する指導助言を行う。（発表前、発表当日の指導助言など） ◎児童生徒指導に関する指導助言を行う。（生徒指導提要、人権教育等の指導助言など） ◎教育課程に関する指導助言を行う。（教科指導、学習指導要領、学習評価のあり方など） ◎特別支援に関する指導助言を行う。（校内支援、インクルーシブ教育など）
------	---

3. 学びづくりラボ

(1) 実施期間および実施回数 応相談

(2) 内 容

学びづくり	◎指導方法、単元計画、学習評価、教材作成、教室環境等、授業づくり全般 ◎学級経営や児童生徒指導等の相談 ◎その他 状況やニーズに合わせて対応
-------	--

4. 初任者訪問指導

(1) 実施期間 9月～2月

(2) 実施回数 原則として従来方式の学校のみ初任者1名に対して1回実施。

県央教育事務所指導訪問を兼ねる。（本市指導主事と2名で訪問指導を行う）

(3) 内 容 教科の授業実践に関する指導助言を行う。

(2) 研 修

教師の教育専門職としての資質と指導力の向上を図るために、各種研修会を開催しています。

No.	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
1	校長研修会	校長研修会	校長研修会	校長研修会	校長研修会
2	教頭研修会 兼 自衛消防訓練講習 会	教頭研修会 兼 自衛消防訓練講習 会	教頭研修会 兼 自衛消防訓練講習 会	教頭研修会 兼 自衛消防訓練講習 会	教頭研修会 兼 自衛消防訓練講習 会
3	学校運営担当者会	学校運営担当者会	学校運営担当者会	学校運営担当者会	学校運営担当者会
4	教育課題研修会 (小中学校英語・外 国語)	教育課題研修会 (小中学校英語・外 国語)	教育課題研修会 (小中学校英語・外 国語)	教育課題研修会 (小中学校英語・外 国語)	教育課題研修会 (外国語・次期学習 指導要領・総合)
5	特別支援教育推進 研修会 教育相談コーデ ィネーター連絡会	特別支援教育推進 研修会 教育相談コーデ ィネーター連絡会	特別支援教育推進 研修会 教育相談コーデ ィネーター連絡会	特別支援教育推進 研修会 教育相談コーデ ィネーター連絡会	特別支援教育推進 研修会 教育相談コーデ ィネーター担当者会
6	いじめ問題対策 連絡協議会	いじめ問題対策 連絡協議会	いじめ問題対策 連絡協議会	いじめ問題対策 連絡協議会	いじめ問題対策 連絡協議会
7	普通救命講習会 水泳安全指導法講 習会 応急手当普及員講 習会 健康・安全教育担 当者会 *自転車事故防止 の取組み *学校防災につい て 食育担当者会	普通救命講習会 水泳安全指導法講 習会 応急手当普及員講 習会 健康・安全教育担 当者会 *自転車事故防止 の取組み *学校防災につい て 食育担当者会	普通救命講習会 水泳安全指導法講 習会 応急手当普及員講 習会 健康・安全教育担 当者会 *自転車事故防止 の取組み *学校防災につい て 食育担当者会	普通救命講習会 水泳安全指導法講 習会 応急手当普及員講 習会 健康・安全教育担 当者会 *自転車事故防止 の取組み *学校防災につい て 食育担当者会	普通救命講習会 水泳安全指導法講 習会 応急手当普及員講 習会 健康・安全教育担 当者会 *自転車事故防止 の取組み *学校防災につい て 食育担当者会
8	国際教育担当者会 新任国際教育担当 者会 外国語教育担当者 会	国際教育担当者会 新任国際教育担当 者会 外国語教育担当者 会	国際教育担当者会 新任国際教育担当 者会 外国語教育担当者 会	国際教育担当者会 新任国際教育担当 者会 外国語教育担当者 会	国際教育研修会 新任国際教育研修 会 外国語教育担当者 会
9	初任者研修会	初任者研修会	初任者研修会	初任者研修会	初任者研修会
その他	○Yamato school session 2026 (令和8年度) ○教材教具研究協議会 ○中学校生徒指導連絡協議会 ○学校図書館教育担当者会 ○学校司書連絡会 ○新任学校司書連絡会 ○小学校英語専科担当者会 ○幼保こ小連携研修会 ○特別支援学級担当者会 ○特別支援教育新担当教員研修会 ○通級指導教室担当者会 ○移動水泳担当者会 ○学力向上担当者会 ○日本語指導研修会 ○医療的ケア看護師連絡会 ○特別支援教育ヘルパー連絡会 ○特別支援教育スクールアシスタント連絡会 ○寺子屋学習支援員連絡会 ○寺子屋コーディネーター連絡会 ○放課後子ども教室チーフパートナー連絡会 ○中学校学習支援コーディネーター連絡会 ○学習支援員連絡会				

(3) 研 究

各学校の自主的研究の高揚を図り、教育の質的向上を実現するために、研究委託校を設置し、研究の成果を研究集録にまとめ、本市の学校教育に反映させています。

① 教育研究委託【魅力ある学校づくり】

学校名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
北 大 和 小	学びを深める児童の育成 ～自ら問題を見いだして考えを深める子～	学びを深める児童の育成 ～考えることを楽しめる授業づくり～	学びを深める児童の育成 ～考えることを楽しめる授業づくり～	自ら高めることができる子の育成 ～課題に気づき挑戦できる子の素地づくり～	自ら高めることができる児童の育成 ～課題に気づき解決するための手立ての追求～
林 間 小	豊かに表現する子どもを育む授業づくり ～読解力（読む力・考える力・表現する力）の育成を通して～	豊かに表現する子どもを育む授業づくり 読解力～読む力・考える力・表現力を身につける～	進んで学ぶ ふたばっ子の育成を目指して ～どの子も満足！「わかった」「できた」を実感する授業～	進んで学ぶ ふたばっ子の育成を目指して ～貴く言語活動で、どの子も「わかった」「できた」へ STEP UP～	グランドデザインにおける重点目標の具現化に向けた取り組みについて
大 和 小	自ら気づき、考え、表現するやまとっ子の育成 ～語彙力を生かし、学びを深める授業づくり～	自ら気づき、考え、表現するやまとっ子の育成 ～語彙力を生かし、学びを深める授業づくり～	「心と心を通わせよう！～一人ひとりが大切にされる あたたいき集団づくり～」	「心と心を通わせよう！～一人ひとりが大切にされる あたたいき集団づくり～」	友だちとのかかわり合いの中で、話す力聞く力を養おう～国語科「話すこと・聞くこと」における系統的な指導を通して～
草 柳 小	共に学び、共に生きる ～つきたい力を明確にし、子どもに力をつける、指導と評価の研究～	共に学び、共に生きる ～つきたい力を明確にし、子どもに力をつける、指導と評価の研究～	児童全員がわかる授業の工夫 ～伝え合いを通して、課題を解決できる授業づくり～	「わかる授業の工夫 ～開わり合いを通して、課題を解決できる授業づくり～」	「楽しい学校」の創造 ～みんなで課題を解決できる草柳っ子～
深 見 小	「わかった」「できた」を実感できる授業づくり ～自己肯定感の育成～	主体的に行動できる深見っ子の育成 ～自己肯定感のある子をめざして～	主体的に学習に取り組む深見っ子の育成 ～音・図・体からのアプローチ～	主体的に学習に取り組む深見っ子の育成 ～個別最適化された学びの場面と協働的な学びを組み合わせた授業を通して～	主体的に学習に取り組む深見っ子の育成 ～自らの課題・強みを自覚し、対話を通じた深い学びを目指して～
桜 丘 小	これからの時代を生き抜く力を育む ～自信をもって自分を表現できる子どもの育成～	これからの時代を生き抜く力を育む ～自信をもって自分を表現できる子どもの育成～	これからの時代を生き抜く力を育む ～自信をもって自分を表現できる子どもの育成～	これからの時代を生き抜く力を育む ～「知りたい」、「やってみよう」を大切に 学び合える子どもの育成～	これからの時代を生き抜く力を育む ～「知りたい」「やってみよう」を大切に学び合える子どもの育成～
渋 谷 小	「わかった！」「できた！」を実感できる子の育成 ～基礎学力の向上を目指して～	（教師・児童）みんなが学ぶ授業づくり ～学び合いを通して、自らの課題を解決する子を目指して～	「見つけて・関わって→smile 100%『〇〇たい！』があふれる授業づくり	「見つけて・関わって→smile 100%『〇〇たい！』があふれる授業づくり」	見つけて・認めて→スマイル100% ～もっと「〇〇たい」があふれる授業づくり～
西 鶴 間 小	主体的・対話的・深い学びの実現に向けた授業づくり ～クロームブックを媒体とした心のふれあい～	主体的・対話的・深い学びの実現に向けた授業づくり ～クロームブックを媒体とした心のふれあい～	「協働して学ぶ授業」	「協働する授業」	大学との連携による活力あふれる教育活動の創造 ～大学生と小学生の交流を通じた活力ある学校づくりの実践～
緑 野 小	主体的に学びに向かい、ICTを活用してよりよく課題解決する子どもの育成	自分の思いや考えを伝え合い、表現する子どもの育成 ～ICTの効果的な活用を通して～	すべての子どもたちの未来を切り開く確かな学びの実現を目指して ～一人一人の子どもたちの可能性を引き出す手立て～	すべての子どもたちの未来を切り開く確かな学びの実現を目指して ～一人一人の子どもたちの可能性を引き出す手立て～	自ら問いを持ち、考えを伝え合いながら深める子どもの育成 ～追究を楽しむ子どもを育成するための手立て～
上 和 田 小	伝え合う、深め合う、子どもの育成をめざして ～相手を意識して、自分の考えを伝えられる子～	伝え合う、認め合う子どもの育成をめざして	伝え合う、認め合う子どもの育成をめざして	伝え合う、認め合う子どもの育成をめざして	伝え合う、認め合う子どもの育成をめざして
柳 橋 小	主体的に学ぶ子どもの育成を目指して ～かかわり合いを通して、自分の成長を実感できる授業づくり～	主体的に学ぶ子どもの育成を目指して ～かかわり合いを通して、自分の成長を実感できる授業づくり～	かかわり合いを通して主体的に学ぶ子どもの育成 ～粘り強く課題解決を目指す授業づくり～	かかわり合いを通して主体的に学ぶ子どもの育成 ～粘り強く課題解決を目指す授業づくり～	「生きる力、ゆめに向かう力の育成」 オール オールオール 毎日 みんな 輝く
南 林 間 小	「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業づくり ～根拠や理由に基づいた自分の考えを表現できる児童の育成～	基礎基本の定着を目指した授業づくり ～なんりんスタンダードの構築を目指して～	基礎基本の定着を目指した授業づくり ～なんりんスタンダードの構築を目指して～	基礎基本の定着を目指した授業づくり ～なんりんスタンダードの活用を目指して～	“話したい”を当たり前にする教室づくり ～スモールステップ×リフレクション×協働アウトプットの統合的指導～
福 田 小	自己肯定感を高め、互いに認め合う児童の育成	考えを深めあえる児童の育成 ～ふくだっ子 心のふれあい～	自らの見方、考え方を広げる児童の育成	対話を通して学びを深める児童の育成	子どもが「わかった」「できた」を実感する授業づくり ～よき受け方・伝え方をする児童を通して～

大野原小	「友だちと豊かなかわり合いができる子」～語彙力を定着させるための言語活動を通した指導の工夫～	「友だちと豊かな関わり合いができる子」「主体的・対話的で深い学び」を実現する魅力的な授業づくり～読むことを中心として～	『「他者とともに、学びをつくり深める子ども」の姿を目指して』	「「他者とともに、学びをつくり深める子ども」の姿を目指す」	互いを認め合い、自ら課題を見つけ、よりよい行動ができる児童の育成
下福田小	いきいきと表現できる下福っ子をめざして～国語科での言語活動の充実～	いきいきと表現できる下福っ子をめざして～国語科での言語活動の充実～	いきいきと表現できる下福っ子をめざして～国語科での言語活動の充実～	「いきいきと表現できる下福っ子～学びに向かう楽しさを体感できる授業づくり～」	児童が「安心・いきいき・挑戦」できる授業づくり
大和東小	主体的に対話的な学びを通して、考えを深められる子どもの育成～ICT機器を活用した授業改善～	主体的に対話的な学びを通して、考えを深められる子どもの育成～ICT機器を活用した授業改善～	主体的に対話的な学びを通して、考えを深められる子どもの育成～ICT機器を活用した授業改善～	「『生きる力』を育む教室と授業づくり」	教師が学び合い、育ちあえる学校づくり
文ヶ岡小	学びに向かう力を育てる～自分で考え、自信を持って学び続ける子～	主体的に学びに向かう力を育む～「問いづくり」を基盤とした授業と評価～	主体的に学びに向かう力を育む～「問いづくり」を基盤とした授業～	『語彙力を豊かにし、相手に伝わる力を養う』	主体的に学びに向かう力を育む～わかる！できる！楽しい！授業をめざして～
中央林間小	一人一台端末の効果的な活用場面の探求～よりよい授業を目指して～	「何のため」を考え、課題を解決する子を目指して～1人1台端末の効果的な活用場面の探求～	自らの考えを伝え合い、学びを深め合える児童の育成～考えを広げてつなげることを意識した授業作りを目指して～	自らの考えを伝え合い、学びを深め合える児童の育成～考えを広げてつなげることを意識した授業作りを目指して～	自らの考えを伝え合い、学びを深め合える児童の育成～考えを広げてつなげることを意識した授業作りを目指して～
引地台小	授業のアップデート～主体的・対話的で深い学び～	やる気のアップデートで楽しく学ぶ子の育成～算数科における学力向上に向けた授業展開の工夫～	「いいね！」を広げながら、意欲的に学ぶ子の育成～生活と学習の結びつきを意識して協働的に学び、考えを深めるための指導の工夫～	深く考えながら学ぶ子の育成～生活と学習の結びつきを意識し、主体的な学びをつくる指導の工夫～	“あい”がいっぱい みんなの学校～自分らしく学び 成長するために～
大和中	自他を認め心豊かに生きる生徒の育成～人間関係を土台とした、生徒全員が生き生きと活動できる学校をめざして～	『いのち』を大切にすることを育む教育の推進～自他を認め心豊かに生きる生徒の育成～	自他を認め心豊かに生きる生徒の育成	「思考力・判断力・表現力を深める授業デザイン」～子どもの表現力を伸ばす～	みんなでみんなが楽しい学校を創る～安心・安全な環境づくり 楽しい行事 好きを伸ばす 温かい職場づくり～
光丘中	新学習指導要領における評価について	評価について	防災～防災教育の充実～	人間関係づくり	主体的に学び、共に学びを深められる生徒の育成
渋谷中	地域に根差し、未来を生き抜く力の育成～SDGsの取り組みを通して～	地域に根差し、未来を生き抜く力の育成	主体的に学習に取り組む態度の評価の研究	主体的に学習に取り組む態度の評価の研究	生徒・教職員が、魅力を感じる学校づくり
つきみ野中	新学習指導要領に準じた『主体的に学習に取り組む態度』の評価の研究	問題解決への見通しを持ち、自分の考えをまとめ、伝え合う力の育成	ともに学び、課題解決に向かう生徒の育成～見通し・話し合い・まとめ～	ともに学び、課題解決に向かう生徒の育成～見通し・話し合い・まとめ～	認め合い支え合う関係を目指す
鶴間中	生徒の学び合いとタブレット機器の活用	主体的に学ぶ態度を育成する機会の設定と評価について～効果的な生徒のタブレット機器の活用方法について～	9年間の豊かな「学び」と「心」を育む、切れ目のない教育を目指して	「授業改善を目的とした公開授業の実施と参観～一人ひとりの教員の自律的な学びを支える組織的・継続的な取り組みの充実を目指す～」	わかる・できる喜びを味わい主体的に取り組む生徒の育成～指導と評価の工夫を通して～
引地台中	主体的に活動し、ちからを高め合う生徒の育成～ICT機器の効果的な活用を通して学び合う力を育み自ら気づく喜びを大切にする授業づくり	主体的に活動し、ちからを高め合う生徒の育成～ICT機器の効果的な活用を通して～	引地台中学校の課題を整理し、魅力ある学校づくりのための土台を作る	安心できる学校づくりに向けて	一人一人の声を受け止められる学校を目指して
上和田中	新学習指導要領に対応した授業改善と評価	主体的に学習に取り組む態度を育てるための授業実践	校内生徒指導のあり方/主体的に学習に取り組む態度を育てるための授業実践	「学校生活における主体性」を育む指導（放任との違い、校則のあり方）	①コンテンツ（知識量）ベースから「学習者主体」のコンピテンシー（資質・能力）ベースへの転換 ②生徒が主体的に取り組み、自ら課題を見つけ解決していく授業 ③生徒が安心して効果的に学習に取り組める環境づくり ④外部の講師を招いての講演事業
南林間中	主体的に学習に取り組む態度を育む授業づくりと評価方法の研究	主体的に学習に取り組む態度を育むためのICT活用	ベストミックスを目指した効果的かつ効率的な学校運営	学校教育目標の実現に向けた研究～第1次「学校教育目標の具現化と学校全体での共有化」～	学校教育目標の実現に向けた研究～第2次「学校教育目標を具現化するための授業構想」～
下福田中	生徒とともに創る主体的な「学び」の場	すべての生徒が3年間、たのしく学べるための学校づくり～生徒のようすを見取る中で～	誰もが安心して、たのしいと思える学校をめざして～誰一人取り残さない学校の見直しから～	「総合的な学習の時間を使った探究学習の検証」	生徒とともに創る主体的な「学び」の場～各教科における探究とは～

② 指定研究・特別委託

学校名	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
北大和小					
林間小		教育課題研究推進校 小・中学校連携実践 研究協力校	教育課題研究推進校 小・中学校連携実践 研究協力校	教育課題研究推進校	
大和小	教育課題研究推進校				
草柳小					
深見小					
桜丘小	教育課題研究推進校 小・中学校連携実践 研究協力校	教育課題研究推進校			
渋谷小		ふれあい教育実践研 究推進校	ふれあい教育実践研 究推進校		
西鶴間小	ふれあい教育実践研 究推進校				
緑野小					
上和田小	小・中学校連携実践 研究協力校				
柳橋小					
南林間小					
福田小	ふれあい教育実践研 究推進校				
大野原小			教育課題研究推進校	教育課題研究推進校	教育課題研究推進校
下福田小					
大和東小					
文ヶ岡小					
中央林間小		ふれあい教育実践研 究推進校	ふれあい教育実践研 究推進校		
引地台小					
大和中					
光丘中		ふれあい教育実践研 究推進校	ふれあい教育実践研 究推進校		
渋谷中	ふれあい教育実践研 究推進校				
つきみ野中	教育課題研究推進校	教育課題研究推進校	教育課題研究推進校		

鶴 間 中		小・中学校連携実践 研究推進校	小・中学校連携実践 研究推進校		
引 地 台 中					
上 和 田 中	小・中学校連携実践 研究推進校				
南 林 間 中					
下 福 田 中	教育課題研究推進校				

③児童生徒指導関係

- ア 指導力の向上のための研究・研修
 - 学校別児童生徒指導研修会
- イ 小・中学校の連携の推進
 - いじめ問題対策連絡協議会
- ウ 児童生徒指導体制の確立
 - 大和市中学校生徒指導連絡協議会
 - 児童支援中核教諭の配置
 - 匿名報告・相談アプリ「STANDBY」
 - 学校支援員の配置
 - スクールロイヤーの配置
- エ 家庭・地域社会等との連携の推進
 - 家庭・地域教育活性化会議
 - 公立中学校と保護司との連絡協議会
 - 小中学校保護者向けデジタル連絡ツール

④特別支援教育関係

- ア 大和市特別支援教育センター（アンダンテ）の設置（令和元年度から）
 - a はぐくみの教室（通常の学級に在籍する情緒・行動面等に課題のある児童生徒の通級指導教室）
 - b ひだまりの教室（特別支援学級に在籍の不登校児童生徒の教育支援教室）
 - c 教育的ニーズのある児童・生徒に対する教育相談体制の充実
 - 就学相談
 - 障がいのある児童・生徒・その保護者に関する相談
 - d 特別支援教育に関する研究・研修及び理解・啓発
 - 校内支援体制の充実

交流・共同学習の推進

特別支援教育研修会

大和市特別支援教育研究会委託

イ 特別支援教育ヘルパー配置（平成4年度から）

ウ 特別支援教育スクールアシスタント配置（平成16年度から）

エ ことばの教室（平成6年度から）

オ 大和市立病院院内学級（病弱・身体虚弱学級）（平成6年度から）

カ 医療的ケアが必要な児童生徒に対する看護師派遣（平成30年度から）

キ 大和市教育支援委員会の設置（令和5年度から）

(4) 国際教育

国際教育の推進を図るとともに、外国人児童生徒及び帰国児童生徒の適応指導、日本語指導、特性の保持・伸長のために国際教室を設置しています。また、昭和61年度から、外国人英語指導助手の派遣を行い、平成11年度からは、英語指導等のため、小学校に国際教育指導員を派遣するなど、英語指導の充実と国際交流活動に努めています。

また、平成30年度から、より専門的に日本語を学べる環境を整備し、児童生徒一人一人の多様なニーズに対応できるよう、「やまとプレクラス」を市民活動拠点ベテルギウス内に開設し、外国人児童生徒支援コーディネーター、日本語教育アドバイザー、日本語指導巡回教員を配置しました。

さらに、令和7年4月、「やまとプレクラス」に、ライブラリー機能や教職員の研修機能を加え、日本語支援センター「スマイル」を渋谷小学校内に開設し、外国につながる児童生徒への日本語指導・教科指導等の支援の充実に努めていきます。

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
国 際 教 室	渋谷小学校	渋谷小学校	渋谷小学校	渋谷小学校	渋谷小学校
	林間小学校	林間小学校	林間小学校	林間小学校	林間小学校
	西鶴間小学校	西鶴間小学校	西鶴間小学校	西鶴間小学校	西鶴間小学校
	柳橋小学校	柳橋小学校	柳橋小学校	柳橋小学校	柳橋小学校
	大和小学校	大和小学校	大和小学校	大和小学校	大和小学校
	桜丘小学校	桜丘小学校	桜丘小学校	桜丘小学校	桜丘小学校
	大野原小学校	大野原小学校	大野原小学校	大野原小学校	大野原小学校
	福田小学校	福田小学校	福田小学校	福田小学校	福田小学校
	大和東小学校	大和東小学校	大和東小学校	大和東小学校	大和東小学校
	緑野小学校	緑野小学校	緑野小学校	緑野小学校	緑野小学校
	南林間小学校	南林間小学校	南林間小学校	南林間小学校	南林間小学校
	北大和小学校	北大和小学校	北大和小学校	北大和小学校	北大和小学校
	下福田小学校	下福田小学校	下福田小学校	下福田小学校	下福田小学校
	草柳小学校	草柳小学校	草柳小学校	草柳小学校	草柳小学校
	文ヶ岡小学校	文ヶ岡小学校	文ヶ岡小学校	文ヶ岡小学校	文ヶ岡小学校
	深見小学校	深見小学校	深見小学校	深見小学校	深見小学校
	引地台中学校	上和田小学校	上和田小学校	上和田小学校	上和田小学校
	引地台小学校	引地台小学校	引地台小学校	引地台小学校	引地台小学校
	光丘中学校			中央林間小学校	中央林間小学校

	渋谷中学校 大和中学校 南林間中学校 上和田中学校 鶴間中学校	引地台中学校 光丘中学校 渋谷中学校 大和中学校 南林間中学校 上和田中学校 鶴間中学校	引地台中学校 光丘中学校 渋谷中学校 大和中学校 南林間中学校 上和田中学校 鶴間中学校	引地台中学校 光丘中学校 渋谷中学校 大和中学校 南林間中学校 上和田中学校 鶴間中学校	引地台中学校 光丘中学校 渋谷中学校 大和中学校 南林間中学校 上和田中学校 鶴間中学校
英語指導助手	3名	3名	3名	3名	3名
外国人児童生徒支援 コーディネーター	1名	1名	1名	1名	1名
日本語指導 巡回教員	1名	1名	1名	1名	1名
日本語指導 アドバイザー	1名	1名	1名	1名	1名
小学校外国語 活動指導助手	12名	12名	12名	12名	11名
外国人 児童生徒 教育相談員	22名	22名	22名	22名	23名
	カンボジア語 ベトナム語 ラオス語 タイ語 スペイン語 ポルトガル語 中国語 タガログ語 英語	カンボジア語 ベトナム語 ラオス語 タイ語 スペイン語 ポルトガル語 中国語 タガログ語 英語	カンボジア語 ベトナム語 ラオス語 タイ語 スペイン語 ポルトガル語 中国語 タガログ語 ウルドゥー語 英語	カンボジア語 ベトナム語 ラオス語 タイ語 スペイン語 ポルトガル語 中国語 タガログ語 ウルドゥー語 英語	カンボジア語 ベトナム語 ラオス語 タイ語 スペイン語 ポルトガル語 中国語 タガログ語 ウルドゥー語 英語
日本語指導員	7名	7名	7名	7名	7名

(5) 学校への助成等

番号	内容／年度	30	R1	2	3	4	5	6	7	8
1	児童・生徒指導強化対策事業委託	○	○	○	○	○	○	○	×	×
2	中学校進路指導推進事業委託	○	○	○	○	○	○	○	○	×
3	特別支援教育推進事業	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	教育研究会等補助事業	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	健康増進特別事業補助金（キャンプ）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	健康増進特別事業補助金（福祉体験）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	健康増進特別事業補助金（車いすバスケット）	—	○	○	○	○	○	○	○	×
8	文化的行事補助事業補助金	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	美術鑑賞事業補助金（小学校のみ）	○	○	○	×	×	×	×	×	×
10	神奈川県中学校文化連盟大和支部総合文化祭補助金	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	学校別児童・生徒指導研修会	○	○	○	○	×	×	×	×	×
12	地域教育力活用推進事業（勤労生産学習）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	地域教育力活用推進事業（教育支援者）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	中学校部活動指導者派遣・部活動補助金	○	○	○	○	○	○	○	○	○

6. 児童・生徒及び教職員の推移

(1) 最近5ヶ年の小・中学校別児童生徒数（各年5月1日現在）

学 校 \ 年	4	5	6	7	8
北 大 和 小	1,100	1,145	1,116	1,080	1,088
林 間 小	989	1,002	1,047	1,096	1,077
大 和 小	899	872	815	777	747
草 柳 小	395	374	354	349	342
深 見 小	527	522	525	537	512
桜 丘 小	474	470	467	440	449
渋 谷 小	612	607	619	626	642
西 鶴 間 小	729	734	706	719	706
緑 野 小	857	835	862	855	836
上 和 田 小	279	269	252	251	233
柳 橋 小	518	492	476	432	425
南 林 間 小	594	588	577	576	562
福 田 小	546	530	510	519	514
大 野 原 小	717	726	736	736	705
下 福 田 小	509	524	536	546	531
大 和 東 小	523	532	547	557	556
文 ヶ 岡 小	452	431	393	369	381
中央林間小	767	806	859	874	913
引 地 台 小	310	319	324	322	310
計	11,797	11,778	11,721	11,661	11,529
大 和 中	826	836	819	784	783
光 丘 中	914	914	906	915	922
渋 谷 中	301	321	318	285	277
つきみ野中	945	962	961	999	1,003
鶴 間 中	448	461	445	436	444
引 地 台 中	680	676	627	613	593
上 和 田 中	366	358	352	356	360
南 林 間 中	779	812	811	778	794
下 福 田 中	341	329	338	349	368
計	5,600	5,669	5,577	5,515	5,544

(2) 年度別学校職員定数

〈小学校〉

各年5月1日現在

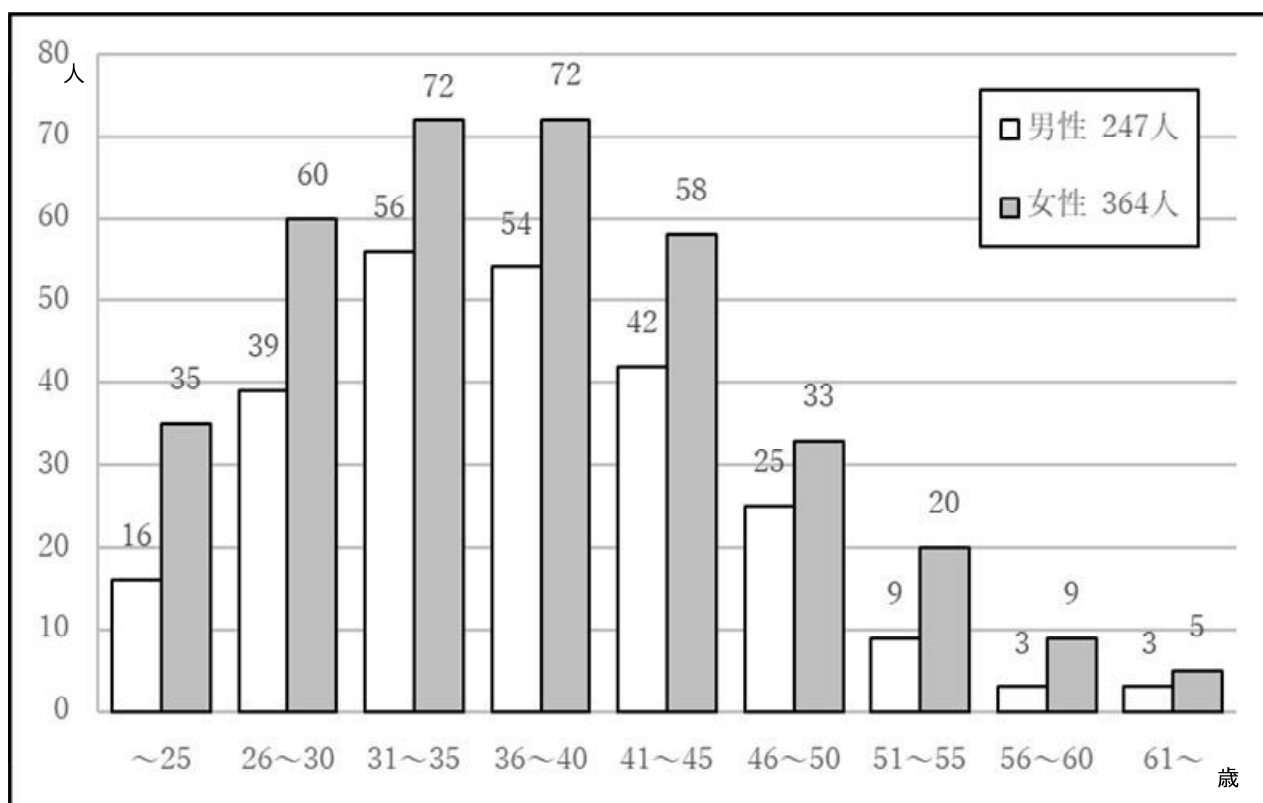
年 度 区 分	4	5	6	7	8
校 長 ・ 教 頭	38	38	38	38	38
総括教諭・教諭	628	646	646	650	644
講 師	—	—	—	—	1
養 護 教 諭	23	22	23	23	23
栄 養 教 諭	4	4	6	6	7
事 務 職 員	28	30	27	27	27
栄 養 士	5	5	3	3	2
学 校 給 食 員	8	8	8	8	8
庁 務 作 業 員	19	19	19	19	19
合 計	753	773	770	774	769

〈中学校〉

年 度 区 分	4	5	6	7	8
校 長 ・ 教 頭	18	18	18	18	18
総括教諭・教諭	333	334	336	339	329
講 師	—	—	—	—	—
養 護 教 諭	12	13	13	11	13
栄 養 教 諭	1	1	1	1	2
事 務 職 員	15	15	15	15	15
栄 養 士	1	1	1	1	0
庁 務 作 業 員	9	9	9	9	9
合 計	389	391	393	395	386

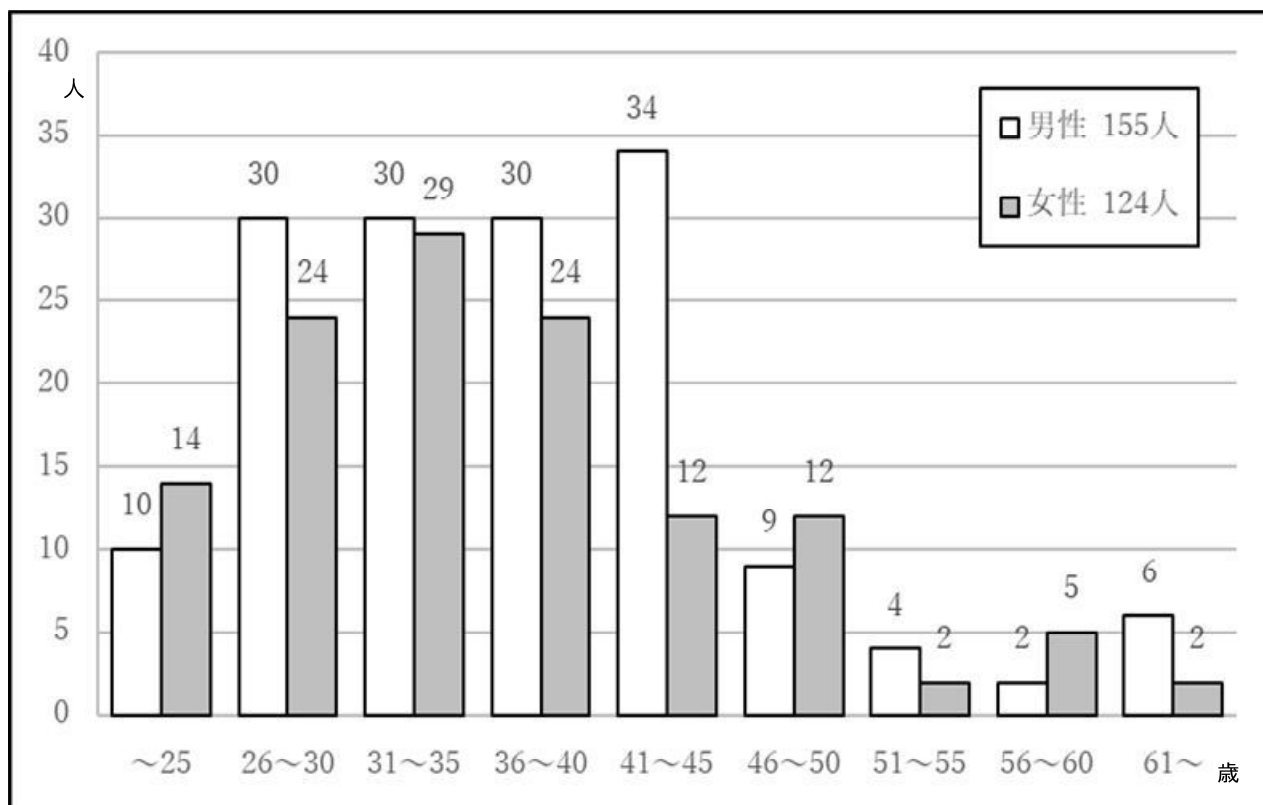
(3) 教員の年齢別・男女別一覧（校長・教頭・再任用教諭・養護教諭・事務・栄養・市費を除く）

小学校



※年齢は、令和7年度末時

中学校



※年齢は、令和7年度末時

7. 特別支援学級

〈学級数・児童生徒数の推移〉

各年5月1日現在

年 区 分		4	5	6	7	8
小 学 校	学 級 数	94	100	106	113	114
	児 童 数	540	580	585	623	662
中 学 校	学 級 数	36	41	38	38	43
	生 徒 数	180	195	211	216	237
計	学 級 数	130	141	144	151	157

8. 進路状況

〈年度別中学校卒業者の進路状況〉

年 度 区分		3		4		5		6		7	
卒 業 者 総 数	男	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
	女	908	100.0	907	100.0	1,017	100.0	991	100.0	930	100.0
高 校 進 学 者	男	925	100.0	892	100.0	937	100.0	872	100.0	933	100.0
	女	894	98.4	899	99.1	1,003	98.6	987	99.6	919	98.8
就 職 者	男	912	98.6	889	99.7	930	99.3	869	99.7	926	99.2
	女	0	0	0	0	1	0.1	2	0.2	2	0.2
就 職 ・ 進 学 者	男	0	0	1	0.1	0	0	0	0.0	0	0.0
	女	0	0	0	0	1	0.1	0	0.0	3	0.3
各 種 学 校 等	男	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0
	女	8	0.9	3	0.3	5	0.5	0	0.0	0	0.0
そ の 他	男	8	0.9	1	0.1	1	0.1	0	0.0	1	0.1
	女	6	0.7	5	0.6	7	0.7	2	0.2	6	0.6
	男	5	0.5	1	0.1	6	0.6	3	0.3	6	0.6
	女										

9. 日本スポーツ振興センター

(1) 掛金等の状況

年 度	掛 金	給 付 金	受 給 率	備 考
28	15,475,475	8,182,016	52.9	
29	15,547,420	8,881,465	57.1	
30	15,586,715	8,331,086	53.4	
令和 元	15,360,555	7,735,899	50.4	
2	15,810,275	6,350,739	40.2	
3	15,901,505	10,513,611	66.1	
4	16,123,415	6,589,280	41.0	
5	16,204,155	24,534,542	151.4	
6	16,067,205	9,699,376	60.4	
7	15,966,225	9,716,814	60.9	

(2) 災害発生状況

区 分 内 訳	小 学 校			中 学 校			合 計		
	加入者数	被災件数	被災率	加入者数	被災件数	被災率	加入者数	被災件数	被災率
28	11,618	266	2.3	5,467	309	5.7	17,085	575	3.4
29	11,729	280	2.4	5,432	309	5.7	17,161	589	3.4
30	11,880	280	2.4	5,305	313	5.9	17,185	593	3.5
令和 元	11,799	311	2.6	5,338	327	6.1	17,137	638	3.7
2	11,926	224	1.9	5,359	244	4.6	17,285	468	2.7
3	11,777	300	2.5	5,571	355	6.4	17,348	655	3.8
4	11,797	279	2.4	5,600	294	5.3	17,397	573	3.3
5	11,778	237	2.0	5,669	310	5.5	17,447	547	3.1
6	11,721	208	1.8	5,577	268	4.8	17,298	476	2.8
7	11,661	244	2.1	5,515	283	5.1	17,176	527	3.1

10. 就学援助及び特別支援教育就学奨励

(1) 就学援助

経済的理由により、就学に係る経費の支出が難しい児童生徒の保護者に援助を行います。

〈就学援助費支給状況〉

令和7年度（単位：円）

内訳	小 学 校		中 学 校		合 計	
	人 数	金 額	人 数	金 額	人 数	金 額
給 食 費	1,479	65,834,413	855	42,411,990	2,334	108,246,403
学用品費・通学用品費・校外活動費等	1,487	21,491,390	884	22,469,420	2,371	43,960,810
新入学児童生徒学用品費	79	4,507,740	28	1,953,000	107	6,460,740
修学旅行費	269	6,088,502	248	16,619,408	517	22,707,910
通 学 費	0	0	2	62,540	2	62,540
体育実技用具費	0	0	0	0	0	0
宿泊を伴う校外活動費	111	885,600	293	1,816,838	404	2,702,438
入学準備金	435	26,519,940			435	26,519,940
医 療 費	0	0	0	0	0	0
めがね購入費	68	773,370	69	740,660	137	1,514,030

(2) 特別支援教育就学奨励

大和市の小中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に援助を行うとともに、特別支援教育就学奨励費の普及を図ります。

〈特別支援教育就学奨励費支給状況〉

令和7年度（単位：円）

内訳	小 学 校		中 学 校		合 計	
	人 数	金 額	人 数	金 額	人 数	金 額
給 食 費	322	7,333,835	100	2,477,535	422	9,811,370
学用品費・通学用品費・校外活動費	324	2,054,735	101	1,210,041	425	3,264,779
新入学児童生徒学用品費	65	1,854,450	37	1,165,500	102	3,019,950
修学旅行費	46	496,340	21	606,060	67	1,102,400
宿泊を伴う校外活動費	41	75,645	36	111,780	77	187,425
交流及び共同学習費	11	1,600	32	15,714	43	17,314
職場実習費	0	0	4	2,176	4	2,176
通 学 費	21	17,280	22	68,303	43	85,583
体育実技用具費	0	0	0	0	0	0

11. 学校給食

学校給食は、食事を通じ、児童生徒の心身の健全な発達に資するとともに、正しい食事のマナーや栄養のとり方、望ましい食習慣を養い、感謝の気持ちを持って食べる態度を育てることを目標として実施しています。

大和市における学校給食は、昭和34年に市立林間小学校で主食と牛乳（脱脂粉乳）とおかずによる完全給食が実施され、単独調理校として始まりました。

現在では、3ヶ所の共同調理場と8ヶ所の単独調理校で大和市立小・中学校の完全給食を実施しています。

また、日本型食生活が見直されている中で、米飯給食を昭和57年4月から週1回実施し、その後、昭和63年4月から週2回に増え、平成22年6月より週4回の米飯の提供を実施しています。さらに、平成12年から自校・場で炊飯を開始し、現在は年16回実施しています。また、給食環境整備の一環として、ランチルームを設置（現在4校）するほか、平成22年4月より、食器材質をアルマイトから樹脂製食器に変え、先割れスプーンを廃止し、箸を導入したことで、より充実した食環境となりました。

平成25年4月には「大和市学校給食における食物アレルギー対応の手引き」を作成、給食費の飲用牛乳アレルギー返金を開始しました。また、平成26年4月からは第3子以降学校給食費助成事業を行っていました。

また、食材料費の物価高騰分について、令和4年10月～令和6年3月分までは新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を、令和6年4月分～令和8年3月までは物価高騰対策重点支援地方創生臨時交付金を活用し、小中学校に対して補助金を交付していました。令和8年4月からは、小学校は国の「学校給食費の抜本的な負担軽減（いわゆる給食無償化）」による学校給食費負担軽減交付金を活用し、中学校に対しては物価高騰対策重点支援地方創生臨時交付金を活用し、補助金を交付しています。なお、大幅な学校給食費補助が実施されたことに伴い、第3子以降学校給食費助成事業は廃止しました。

(1) 調理方式別による学校数（令和8年5月1日現在）

① 単独調理校	小学校	8校
② 共同調理場受入校	小学校	11校
	中学校	9校

(2) 学校給食の内容

① 沿革（完全給食開始年月日）

開始年月	学 校 名	開始年月	学 校 名
昭和34年2月	※ 林 間 小 学 校	昭和38年2月	桜 丘 小 学 校
〃 36年1月	大 和 小 学 校	〃 42年5月	西 鶴 間 小 学 校
〃 37年2月	北 大 和 小 学 校	〃 48年4月	※ 北 部 共 同 調 理 場
〃 37年2月	草 柳 小 学 校	〃 51年9月	南 部 共 同 調 理 場
〃 37年2月	深 見 小 学 校	〃 55年9月	中 部 共 同 調 理 場
〃 38年2月	渋 谷 小 学 校		

※ 林間小学校で市内小学校最初の完全給食を実施。

※ 北部共同調理場で市内中学校最初の完全給食を実施。

② 給食内容

学校給食に供する食物は、パン・米飯・牛乳・おかずの組み合わせによる献立を1食分とし、児童・生徒の栄養が満たされるように工夫されています。

A 学校給食における食事内容…………… 別表 1

B 給食費及び給食単価（令和8年度分）

小学校 6,080 円×11 ヶ月÷186 回＝359 円

中学校 7,650 円×11 ヶ月÷186 回＝452 円

※令和4年10月から学校給食食材料費補助金を助成しています。

（令和8年4月～令和9年3月は、小学校5,200 円/月、中学校3,825 円/月）

C 給食費の推移…………… 別表 2

別表 1 学校給食における食事内容

文部科学省基準（児童生徒1人1回当たりの学校給食摂取基準）

区 分	栄 養 量			
	児童（6歳～7歳）の場合	児童（8歳～9歳）の場合	児童（10歳～11歳）の場合	生徒（12歳～14歳）の場合
エ ネ ル ギ ー (kcal)	530	650	780	830
た ん ぱ く 質 (%)	学校給食による摂取エネルギー全体の13%～20%			
脂 質 (%)	学校給食による摂取エネルギー全体の20%～30%			
ナトリウム（食塩相当量）（g）	1.5 未満	2 未満	2 未満	2.5 未満
カ ル シ ウ ム (mg)	290	350	360	450
マ グ ネ シ ウ ム (mg)	40	50	70	120
鉄 (mg)	2	3	3.5	4.5
ビ タ ミ ン A (μgRAE)	160	200	240	300
ビ タ ミ ン B1 (mg)	0.3	0.4	0.5	0.5
ビ タ ミ ン B2 (mg)	0.4	0.4	0.5	0.6
ビ タ ミ ン C (mg)	20	25	30	35
食 物 繊 維 (g)	4 以上	4.5 以上	5 以上	7 以上

（注）1 表に掲げるもののほか、次に掲げるものについてもそれぞれ示した摂取について配慮すること。

亜 鉛…………児童（6～7歳）2mg、児童（8～9歳）2mg、児童（10～11歳）2mg
生徒（12～14歳）3mg

- この摂取基準は、全国的な平均値を示したものであるから、適用に当たっては、個々の健康及び生活活動等の実態並びに地域の実情等に十分配慮し、弾力的に運用すること。
- 献立の作成に当たっては、多様な食品を適切に組み合わせるよう配慮すること。

別表 2 給食費の推移

年 度	給 食 費	年 度	給 食 費	年 度	給 食 費
昭和 34	(小) 360 円	51 ～ 52	(小) 2,400 円	10～ 20	(小) 3,700 円
37	(小) 450 円		(中) 2,800 円		(中) 4,150 円
38～39	(小) 500 円	53 ～ 54	(小) 2,600 円	21～ 23	(小) 4,000 円
40～41	(小) 650 円		(中) 3,000 円		(中) 4,450 円
42～44	(小) 750 円	55 ～ 56	(小) 2,800 円	24～ 25	(小) 4,140 円
45	(小) 900 円		(中) 3,200 円		(中) 4,600 円
46	(小) 1,100 円	57～ 平成 3	(小) 3,100 円	26～ 令和 7	(小) 4,260 円
47	(小) 1,250 円		(中) 3,600 円		(中) 4,740 円
48	(小) 1,500 円	57～ 平成 3	(小) 3,100 円	8～	(小) 6,080 円
	(中) 1,500 円		(中) 3,600 円		(中) 7,650 円
49 ～ 50	(小) 2,000 円	4～ 9	(小) 3,500 円		
	(中) 2,300 円		(中) 4,000 円		

※平成 24 年度は提供回数増に伴う改定。※平成 26 年度は消費税増税に伴う改定。

③ 献立の作成方法

献立は、1 ヶ月ずつ市内統一献立が作成され、各校・場で実施されています。作成時には、栄養面・経済面・衛生面・作業面・地域面・嗜好面を考慮し、児童・生徒にあった献立を考えています。

④ 物資の購入方法

物資の購入にあたっては、給食用物資の適正な納入を図ることを目的として、運営されている物資選定委員会があり、この会は、学校長・場長・給食担当教諭・栄養教諭・栄養士・教育委員会の各代表により構成され、年 6 回開催されています。

(3) 単独調理校

単独調理校は、小学校のみ 8 校です。各学校では、学校長始め、給食担当教諭・栄養教諭・栄養士・給食調理員が協力して給食の充実を図っています。

(4) 学校給食共同調理場

共同調理場は現在、北部学校給食共同調理場・中部学校給食共同調理場・南部学校給食共同調理場の 3 調理場で受入校（小学校 11 校、中学校 9 校）の給食を提供しています。

各共同調理場は場長・栄養士が中心となり、調理・配送業務等は民間業者に委託して、給食の充実を図っています。

* 大和市学校給食共同調理場運営協議会

運営協議会は、調理場の運営に関する重要な事項について審議し、又調査研究を行い助言することを目的に設置され、小中学校長・PTA・学識経験者等、12 人の委員で組織されています。

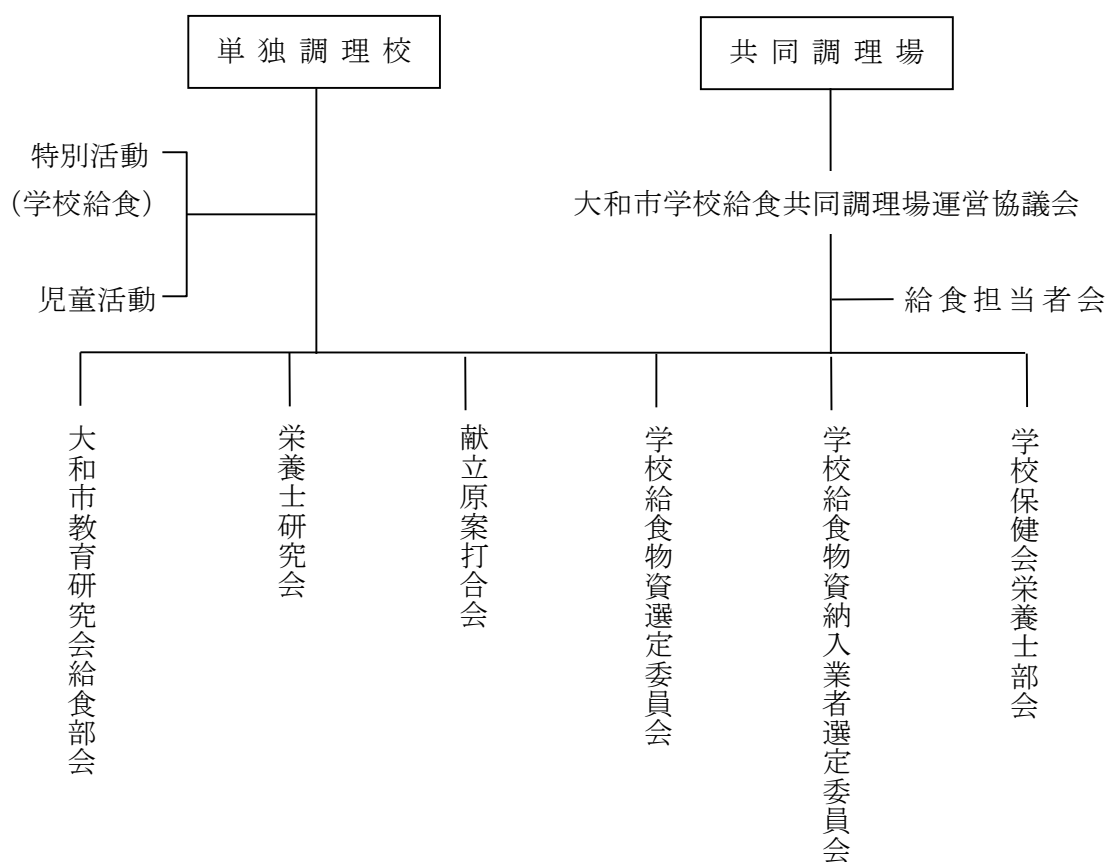
(5) 職員構成

令和8年5月1日現在

学校・調理場名	職 種	場 長	栄 養 教 諭 又は栄養士	調 理 員	補 助 員	合 計
北 部 調 理 場		1	2	※ 23	※ 26	52
中 部 調 理 場		1	2	※ 25	※ 25	53
南 部 調 理 場		1	2	※ 24	※ 31	58
北 大 和 小		—	1	※ 5	※ 12	18
林 間 小		—	1	※ 6	※ 11	18
大 和 小		—	1	※ 6	※ 8	15
草 柳 小		—	1	※ 4	※ 6	11
深 見 小		—	1	※ 4	※ 4	9
桜 丘 小		—	1	※ 3	※ 7	11
渋 谷 小		—	1	※ 4	※ 6	11
西 鶴 間 小		—	1	※ 4	※ 8	13
合 計		3	14	108	144	269

- ※ (1) 調理場の調理員には、総務主任・業務主任・調理師・調理員・ボイラー作業員・配送員・庁務作業員を含み、委託業者です。
- (2) 調理場の補助員は、洗浄パート・受入校配膳員で委託業者です。
- (3) 北大和小・林間小・大和小・草柳小・深見小・桜丘小・渋谷小・西鶴間小の調理員・補助員は、委託業者です。

(6) 学校給食運営組織図



(7) 食 数

〈単独調理校〉

〈調理場受入校〉

令和8年5月1日現在

学校名	食 数	調理場名	食 数				受 入 校 名
北大和小	1,167	北部調理場	小	2,156	計	4,072	中央林間小 大野原小 文ヶ岡小 大和中 つきみ野中 (計5校)
林間小	1,164		中	1,916			
大和小	820	中部調理場	小	1,975	計	4,313	緑野小 柳橋小 南林間小 南林間中 光丘中 鶴間中 (計6校)
草柳小	392		中	2,338			
深見小	562	南部調理場	小	2,335	計	4,083	上和田小 福田小 下福田小 大和東小 引地台小 引地台中 渋谷中 上和田中 下福田中 (計9校)
桜丘小	499		中	1,748			
渋谷小	706	合 計	小	6,466	計	12,468	(受入校全20校)
西鶴間小	771		中	6,002			
合 計	6,081						

(8) 学校給食優良校

学校給食優良校等は、国や県において給食の管理運営体制の充実、指導状況、衛生管理、地域との関連等給食全般について総合的な審査が行われ、優秀と認められた学校・調理場に対して表彰されるものです。

年 度	神奈川県表彰	文部科学大臣表彰
昭和 44	大 和 小	—
45	草 柳 小	—
54	緑 野 小	—
59	深 見 小	緑 野 小
平成 8	大 和 小	—
12	中部調理場	—
16	林 間 小	—
17	—	林 間 小
18	深 見 小	

12. 教育研究所

教育研究所は、教育の研究調査、教育活動の支援、教育情報の発信・提供、教育に関する図書・資料の収集及び貸出し、児童生徒の学習資料の刊行、教育関係職員・市民の教育研修、研究調査成果の発表及び紀要の出版、市域の教育史料の収集と刊行、教育の情報化の推進、理科教育・環境教育・総合的な学習の時間の推進などの事業を行っています。

本市教育の実態を把握し、当面する教育課題の解決に資するとともに、予測困難な社会を切り拓く子どもたちに必要な「生きる力」を育むことを視野に入れ、教職員の資質・能力の向上や学校の教育力を高める研修の充実、教育の情報化のための環境整備、理数教育充実のための環境整備など、教育研究所の果たすべき役割も増えています。

(1) 調査研究事業

教育に関する基礎的・専門的な分野及び学校教育の場における今日的教育課題について、調査研究を行います。その成果は刊行物、研修並びに教育研究所発表会などを通して本市の教育に反映させます。

① 最近5年間の調査研究

調査研究	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
1. 情報教育	(端末活用)		(情報活用能力)		(情報活用能力)
2. 教育意識					
3. 理科教育	(小学校資料)	(デジタル教材)		(環境教育)	
4. 地域教材	(副読本「大和」)	(「大和」活用事例集)	(副読本「やまと」)		
5. 授業力向上			(授業改善)		(自己調整学習)

② 令和7年度に実施した調査研究

研究部会・研究期間	指導担当講師・研究員	研究内容
理科教育に関する調査研究部会 (令和6～7年度)	総合教育センター指導主事 藤本 英志 氏 小学校教員2人 中学校教員2人	子どもが自分ごとに捉える環境教育を実現するための指導法や教材について協議し、授業実践を踏まえて調査研究を行います。
授業力向上に関する調査研究部会 (令和7～8年度)	和光大学名誉教授 中田 朝夫 氏 小学校教員2人 中学校教員2人	教員の授業力を高めるための理論や具体的な手法の調査研究を行い、実践を通して理解を深めるとともに技能の向上を図ります。
教育の情報化に関する調査研究部会 (令和7～8年度)	放送大学 客員教授 佐藤 幸江 氏 小学校教員3人 中学校教員2人	全ての学習の基盤となる情報活用能力の体系的な育成を図るため、ICT機器を効果的に活用した指導方法に関する調査研究を行います。

(2) 研修事業

今日の社会的状況及び校内の教職員の年代構成を踏まえ、“学びつづける教職員”の実現を目指し、人格的資質・課題解決力・授業力など、教職員の資質・能力の向上や学校の教育力を高める研修の充実を図ります。

教職員の専門的資質・能力の向上を目指して、次の4つの柱からなる研修事業を行います。また、市民にも研修の機会を提供します。

- 専門領域の深化や視野の拡大を図る理論研修
- 指導技術の向上を目指す実技・実習研修
- 学校・家庭・地域における教育の今日的課題についての研修
- 教育の専門性や個性・特技を伸ばす研修

●令和7年度の研修事業

① 人格的資質向上研修講座（年間2回）

豊かな人間性と社会性及び対人関係能力を培い、人格的資質の向上を図りました。

No.	研 修 内 容	月 日	講 師	参加
1	【国際教育】 外国につながる子どもたちに寄り添う支援について	6月24日 (火)	慶応義塾大学非常勤講師、NPO法人ペルー共生協会 小波津 ホセ 氏	50 人
2	【人権教育】 *市民公開 難民に希望の光を ～緒方貞子氏のバトンを引き継ぐ～	7月22日 (火)	元国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）／国連UNHCR協会 職員 中村 恵 氏	46 人

② 課題解決力向上研修講座（年間8回）

子どもや社会の変化によるさまざまな教育課題について学び、課題解決力の向上を図りました。

No.	研 修 内 容	月 日	講 師	参加
1	【児童・生徒指導支援 研修会】 ヤングケアラーについての現状や児童虐待の対応について、その支援の考え方、リスクアセスメントについて （*青少年相談室と共催）	6月17日 (火)	大和市役所こども部家庭こども相談係 大和綾瀬地域児童相談所こども支援課	31人
2	【特別支援教育】 発達障がい理解と支援方法について （*指導室と共催）	7月28日 (月)	星槎大学大学院 教授 西永 堅 氏	351 人
3	【健康・安全教育】 今の子どものかからだとはどうなっている？ ～すこやかな発達のための具体的な提案～	8月5日 (火)	日本体育大学教授 同大学体育学部長子どものからだ研究所長 野井 真吾 氏	57人
4	【子ども支援】 自傷行為・薬物依存に対する理解と援助 ～見える傷の背後には見えない傷がある～ （*青少年相談室と共催）	8月26日 (火)	国立精神・神経医療研究センター（NCNP）精神保健研究所 薬物依存研究部長 松本 俊彦 氏	77人
5	【平和教育】 平和とは何か ～未来への責任～	8月27日 (水)	元大和市立中学校社会科教諭 津田 憲一 氏	40人
6	【児童・生徒指導支援研修会】 発達障がいと学校における支援方法 （*青少年相談室と共催）	9月26日 (金)	日本大学文理学部 心理学科 菊島 勝也 氏	31人
7	【学習指導要領】 これからの学校教育 ～みんながワクワクできる学びづくり～	12月25日 (木)	文部科学省初等中等教育局教育課程課学校教育官 岩岡 寛人 氏	46人
8	【学力】 「生きた知識を生むプレイフルラーニング」	1月21日 (水)	一般社団法人 今井むつみ教育研究所 所長 慶應義塾大学名誉教授 文部科学省 中央教育審議会 専門委員 今井 むつみ氏	32人

③ 授業力向上研修講座（年間４回）

教科教育等にかかわる基礎的・専門的知識及び技能について学び、指導技術の向上を図りました。

No.	研 修 内 容	月 日	講 師	参加
1	【探究型授業】 演習を通して学ぶ、「探究的な学び」の指導方法	7月23日 (水)	放送大学 客員准教授 塩谷 京子 氏	33人
2	【授業づくり】 子どもと創る授業 ～確かな「人間性の育成」を求めて～	7月25日 (金)	南砺市教育長（富山大学名誉教授）松本 謙一 氏	55人
3	【算数科】 数学的な見方・考え方を育てる授業	8月25日 (月)	筑波大学附属小学校 盛山 隆雄 氏	59人
4	【小学校：算数科】 ＊提案授業＋講義 自己調整学習を活用した効果的な授業づくり	10月29日 (水)	和光大学 名誉教授 中田 朝夫 氏	52人

④ 教育講演会（年間１回） ＊市民公開

教職員・保護者・市民が教育について学び、地域・家庭との連携を深めました。

No.	研 修 内 容	月 日	講 師	参加
1	【教育講演会】 ＊市民公開 安心できる家族とは～カウンセリングの現場から考える～	7月24日 (木)	日本公認心理師協会会長原宿 カウンセリングセンター顧問 信田 さよ子 氏	127人

⑤ 発表会（年間１回） ＊市民公開

調査研究及び実践力向上研修の概要を発表し、その成果を本市教育に反映する目的で実施しました。

No.	研 修 内 容	月 日	参加
1	【第一部：発表】 ■地域教材に関する調査研究部会 ■教育の情報化に関する調査研究部会 ■授業力向上に関する調査研究部会 【第二部：発表及び協議】 ■授業力向上に関する調査研究部会	8月20日 (水)	93人

⑥ 理科教育研修講座（年間２回＋訪問研修）

環境教育や理科教育の考え方・指導法を研修するとともに、指導力の向上を図りました。

No.	研 修 内 容	月 日	講 師	参加
1	【小学校理科観察・実験】 小学校理科の観察・実験の基礎	6月20日 (金)	県立青少年センター技師	29人
2	【理科実地研修】 泉の森の自然観察 ～授業における自然観察のコツを学ぶ～	7月31日 (木)	しらかしのいえ 自然観察指導員 石丸 勇介 氏	2人
3	【理科訪問研修】 ・観察・実験器具の取り扱いの基礎 ・興味関心を高めるための教材づくり ・理科備品の整理についてなど	5月～3月	理科教育担当指導主事	16回

⑦ 情報教育研修講座（年間6回＋訪問研修）

教育の情報化に関する知識や技能を学び、校務や授業に活用する力の向上を図りました。

No.	研 修 内 容	月 日	講 師	参加
1	【校務支援システム(C4th) 保健管理機能研修】 校務支援システム(C4th)の保健管理機能説明	5月1日(木)	株式会社EDUCOM	4人
2	【初任者研修会】 情報資産の適切な取扱いについて	5月27日(火)	教育研究所指導主事	43人
3	【初任者研修会】 学校におけるICT活用、情報セキュリティ	8月22日(金)	教育研究所指導主事	43人
4	ロイロノートオンライン研修会 (ステップアップ)	8月29日(金)	株式会社LoiLo	—
5	情報教育研修講座【情報セキュリティ】 校内における情報セキュリティ対策について (オンライン)	1月15日(木)	株式会社筑波総合研究所	28人
6	校務支援システム 年度移行オンライン研修会	2月18日(水) 2月20日(金) 2月26日(木) 2月27日(金) 3月13日(金)	株式会社EDUCOM	—
7	【情報訪問研修】 1人1台端末の活用、ソフトウェア基本操作、情報セキュリティ 等	6月～3月	教育研究所指導主事 インストラクター	6回

⑧ 探究講座（年間4回）

授業実践の事例を通して教科教育の充実を図りました。

No.	研 修 内 容	月 日	講 師	参加
1	【小学校理科（5・6年生理科）】 顕微鏡の使い方 ～花のつくり・微小生物の観察～	6月5日(木)	教育研究所指導主事	2人
2	【プログラミング（技術科）】 プログラミングロボットの活用 ～中学校技術科～	5月27日(火)	教育研究所指導主事	1人
3	【水よう液の性質（小学6年生理科）】 小学6年理科「水溶液の性質」の実験方法	6月13日(金)	教育研究所指導主事	4人
4	【プログラミング（小学校）】 プログラミングロボットの活用 ～小学6年理科「発電と電気の利用」を通して～	10月31日 (金)	教育研究所指導主事	8人

(3) 教育の情報化に関する事業

小中学校における情報教育については、情報モラルをベースとした、情報を適切に活用できる「情報活用能力の育成」がより求められるようになりました。このことから、次のように基本方針を定め推進しました。

○小中学校の体系的な情報教育の推進に努めます。

教科等における学習目標の達成を目指す中で、児童生徒に「情報活用の実践力」、「情報の科学的な理解」、情報モラルなどの「情報社会に参画する態度」が育成されるよう、体系的な情報教育の推進に努めます。

○将来にわたって生かせる情報活用能力の基礎を育成します。

様々な情報や情報手段に慣れ親しみながら、主体的に情報を判断・活用し、社会の変化に柔軟に対応できる思考力・判断力・表現力を身につけた児童生徒の育成に努めます。

●令和7年度の事業

① 教育の情報化プロジェクト委員会

本市における教育の情報化に関する各種施策の実施状況について、報告及び意見交換を行いました。

構成	・小学校長会代表 ・中学校長会代表 ・小学校情報担当教諭代表 ・中学校情報担当教諭代表 ・教育の情報化に関する調査研究部会代表 ・教育委員会代表	
実施	1回／年	・報告及び意見交換（教育の情報化の課題等について）

② 校務支援システム推進委員会

令和7年度は、現行の校務支援システムを1年再延長することに伴い、非開催の通知を行いました。

構成	・小学校長会代表 ・中学校長会代表 ・小学校教頭会代表 ・中学校教頭会代表 ・小学校教務担当代表 ・中学校教務担当代表 ・養護教諭代表 ・中学校進路担当代表 ・特別支援学級担当代表 ・事務主事・主査代表 ・教育委員会代表	
実施	0回／年 (通知のみ)	—

③ ネットワークリーダー会議

市内各学校での情報教育の推進について考え、情報交換、要望の集約、連絡・調整を行いました。
各学校代表と教育委員会代表で構成します。

実施	3回／年	連絡：担当者の役割、導入機器、GIGAスクール構想について 児童生徒1人1台端末(Chromebook)の運用、管理について等
----	------	--

④ 情報モラル教育支援事業

平成26年度より業者委託による事業を開始しました。各小中学校の実態を調査し、結果に合わせた指導方法の提示や対応を行います。

- 【支援内容】
- 教職員研修会開催
 - 保護者講習会開催
 - 授業支援
 - 実態調査支援

⑤ コンピュータ機器整備

情報教育の目的達成に寄与すべく、学習指導の改善・充実を目指して、小中学校に教育用コンピュータを設置し、情報教育を推進しています。

【コンピュータ整備状況（令和2年度～）】

	小学校	中学校
令和2年度 (2020年度)	◆14 台（リース R2. 4. 1～R7. 3. 31） 各校校務用PC 14台 ◆484 台（リース R2. 9. 1 ～R7. 8. 31） 各校校務用PC 484台 ◆6 台（リース R2. 9. 1 ～R7. 8. 31） ことばの教室用タブレット（iPad） 6台	◆13 台（リース R2. 4. 1 ～R7. 3. 31） 各校校務用PC 11台 特別支援センター用PC 2台 ◆5 台（リース R2. 4. 1 ～R7. 3. 31） 普通教室プロジェクタ用PC 5台 ◆55 台（リース R2. 9. 1 ～R7. 8. 31） 普通教室プロジェクタ用PC 55台 ◆67 台（リース R2. 9. 1 ～R7. 8. 31） 各校校務用PC 58台 院内学級用PC 1台 特別支援センター用PC 8台 ◆52 台（リース R2. 12. 1 ～R7. 11. 30） 普通教室プロジェクタ用PC 52台
	◆教育用端末機(Chromebook)	18,660 台（買取 R2. 10 ～）
令和3年度 (2021年度)	◆普通教室プロジェクタ用PC 3台（リース R3. 9. 1 ～R8. 8. 31） ◆校務用PC 4台（リース R3. 9. 1 ～R8. 8. 31） ◆教育用端末機(Chromebook) 248 台（買取 R4. 3 ～）	
令和4年度 (2022年度)	◆校務用PC 359 台（リース R4. 9. 1～R9. 8. 31） ◆教育用端末機(Chromebook) 334 台（買取 R4. 5 ～） ◆教育用端末機(Chromebook) 1,452 台（買取 R5. 1 ～）	
令和5年度 (2023年度)	◆校務用PC 299 台（リース R5. 9. 1～R9. 8. 31） ◆教育用端末機(Chromebook) 832 台（買取 R5. 11 ～）	
令和6年度 (2024年度)	◆教育用端末機(Chromebook)	1,112 台（買取 R6. 12 ～）
令和7年度 (2025度)	◆校務用PC 668 台（リース R7. 9. 1～R12. 8. 31） ◆教育用端末機(Chromebook) 250 台（買取 R8. 3 ～）	
	【令和8年3月31日現在】 ・教育用コンピュータ台数 23,210台 ・校務用コンピュータ台数 1,330台	

※令和 2 (2020) 年度から GIGA スクール構想に基づく 1 人 1 台端末の整備となったことから、市教育委員会全体としての記載に変更。

⑥ プログラミング教育支援（令和7年度終了）

令和7年度まで実施していた本事業では、小中学校におけるプログラミング教育について、児童生徒がプログラミングに触れることのできる環境の整備を行うとともに、児童生徒がプログラミングに触れる機会を設定しました。

【放課後寺子屋プログラミング教室（実施会場 全市立小中学校 教室 等）】

開催時間	対象・人数	内容
授業終了後～ 15:30または16:30	小学校1～6年生 定員20人	PCの基本的な操作方法を学ぶ。 Scratchを用いて、基本的なプログラミングの手法を学ぶ。 Studuinoを用いて、ロボットを利用した発展的なプログラミングを学ぶ（2～6年生）。
授業終了後～16:50	中学校1～3年生 定員20人	Scratchを用いて、基本的なプログラミングの手法を学ぶ。 Studuinoを用いて、ロボットを利用した発展的なプログラミングを学ぶ。

*一年間を通して各小学校では12回実施、各中学校では6回実施

(4) 理科・環境教育・総合的な学習の時間に関する事業

「生きる力」の育成を目指した授業を支援するために、理科教育・環境教育・総合的な学習の時間に関する事業の推進を図ります。調査研究・研修講座の充実を図るとともに、授業支援を行っています。

① 理科教育機器の整備・貸出し

学習指導要領に対応し、理科備品の整備拡充を図り、理科教育の充実のために機器の貸出しを行っています。

【令和7年度の理科教育機器の貸出し】

内	容
デジタル気体検知器(2) ブルーシート(1) 顕微鏡用USBカメラ(1) 密度測定用体(2) 地層シート(1) 薬品など(1)	

② 理科教育の相談・支援

観察・実験上での指導に関すること、教材研究や教材提供、理科におけるレファレンスサービスを行っています。

【令和7年度の相談・支援】

相談項目	主な相談内容	件数
教材提供	・生物教材提供（微小生物 6種）	15件
教材研究	・てこの原理について ・水溶液の性質の実験方法について ・科学クラブでの実験について ・プログラミングについて	16件
教育相談	・今後の授業について ・廃液の出し方や保管方法について ・理科室の使い方について	5件

③ 環境教育の相談・支援

環境教育推進のための機器の貸出し、教材研究や教材作成の相談を受け付けます。

④ 薬品廃液処理

理科学習時の廃液等を回収し、適切に処理しています。

【令和7年度の薬品廃液処理】

産業廃棄物の種類	数量(kg)	処理方法	備考
廃酸	1.937	焼却	
廃アルカリ	0.150	焼却	
廃油	0.822	焼却	
汚泥	2.574	焼却	
特別管理 特定有害汚泥	0.087	溶解・還元・中和・ろ過	
特別管理 pH2.0以下の廃酸	0.570	中和	

⑤ 「子ども科学教室」の開催

児童生徒の科学的な考え方や創造力の育成を目的に行っています。

【令和7年度の子ども科学教室】

回	テーマ	月 日	会 場	講 師	参加
1	貝殻ランプシェードをつくろう	5月31日(土)	生涯学習センター 612文化創造室	元藤沢市校長	19人
2	ホバークラフトをつくろう	9月27日(土)	桜丘学習センター 301集会室	科学探検隊	24人
3	ラジオをつくろう	11月15日(土)	生涯学習センター 612文化創造室	神奈川県電波適正 利用推進員協議会	16人
4	鉱石を磨こう	2月7日(土)	北部文化スポーツ育てセンター Room2	大和市教育研究所 指導主事	21人

プチロボの製作・競技を行い、科学技術発展の裾野を広げます。(県立青少年センターと共催)

	テーマ	月 日	会 場	講 師	参加
1	プチロボで競走しよう (大和大会)	10月4日(土) 10月5日(日)	桜丘学習センター 301集会室	県立青少年センター 技師	各24人

⑥ 「夏のおもしろ科学館 2025」の開催

内 容 観察実験・ものづくりブースの出展

日 時 8月9日(土) 会 場 文化創造拠点シリウス 6階 612文化創造室 他
3階 マルチスペース
1階 ギャラリー 他
参加人数 295人

⑦ 「冬のおもしろ科学館 2025」の開催

内 容 観察実験・ものづくりブースの出展

日 時 12月6日(土) 会 場 文化創造拠点シリウス 6階 610大会議室 他
3階 マルチスペース
1階 ギャラリー
参加者数 315人

⑧ 総合的な学習の時間等の情報提供

総合的な学習の時間の支援のため、教材研究や教材作成の相談の受付や、各学校における授業実践等への情報提供を行っています。

(5) 教育資料に関する事業

児童生徒の学習効果の向上や学校や教職員等の教育研究、教育実践に資するために、教育資料を刊行するとともに、教育情報誌及び教育研究資料を収集・整理し、教職員に閲覧・貸出しを行っています。

① 教育資料の刊行

【令和7年度の刊行物】

	刊 行 物	対 象	発行部数
1	教育研究所要覧	小中学校教職員・関係機関	250部
2	ビジュアル版「大和の教育」(Web版)	小中学校教職員・関係機関・市民	Web掲載
3	まなびやまと(Web版)	小中学校教職員・関係機関・市民	Web掲載
4	こども版 まなびやまと(Web版)	小中学校児童生徒・教職員・関係機関	Web掲載
5	所報(3回)	小中学校教職員・関係機関	Web掲載
6	小学校社会科副読本「やまと」	小学校3年生	2,200部
7	中学校社会科副読本「大和」	中学校1年生	2,200部
8	小学校理科副読本「大和の自然」	小学校3年生	2,200部

【令和7年度発行の教育情報誌の内容】

情報紙	発行日	内 容
令和7年度 ビジュアル版 「大和の教育」	6月17日	大和市学校教育基本計画・大和市生涯学習推進計画策定 「空調設備改修、外壁改修を進めます」(教育総務課) 「充実した支援体制を整え、相談活動の推進に努めます」(青少年相談室) 「日本語支援センター『スマイル』を開設し、『やまとプレクラス』を 移転しました」(指導室) 「匿名・報告相談アプリ「STANDBY」子どもたちの相談に応えます」 (指導室) 「豊かな人間性を育む体験学習を支援します」(指導室) 「小学校社会科副読本「やまと」リニューアルしました」(教育研究所) 「お知らせします」
所 報 第142号	7月17日	研究所って、どんなところ？ 特別寄稿 「『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けて 一端末活用の現在地から考える」 放送大学客員教授 佐藤 幸江氏 調査研究部会成果 ・令和5～6年度 教育の情報化に関する調査研究部会成果 ・令和5～6年度 地域教材に関する調査研究部会成果 令和7年度調査研究部会紹介 「2年目を迎えて」 ・令和7年度2年次教職員 令和7年度夏季研修講座のご案内 離着任のお知らせ
こども版 まなびやまと No.10	2月	「今年度もあと少し！この一年どんな事があったかな」 ・写真掲載(北大和小学校、文ヶ岡小学校、引地台中学校、大野原小学校、 下福田中学校、南林間中学校) 「大和市立小中学校の活動紹介」 ・新聞記者になろう(文ヶ岡小学校) ・50周年記念行事(引地台中学校) ・北小祭り(北大和小学校)

		・全員が主役！泉の森で「チャレンジ泉の森」大成功！（大野原小学校） ・みんな感動！S中祭は熱い思いがいっぱい！（下福田中学校） 「おらが学校」 ・「学校は楽しくなければならぬ」（南林間中学校） 「大和市教育局の活動紹介」 ・おもしろ科学館2025
所 報 第143号	2月6日	【令和7年度研修講座を振り返って】 ・人格的資質向上研修講座 ・課題解決力向上研修講座 ・青少年健全育成講演会兼教育講演会 ・授業力向上研修講座
まなびやま No.39	3月	新聞記者になろう ～新聞記者による出前授業～ 大和市立文ヶ岡小学校 北小まつり ～異学年交流を通して育まれるもの～ 大和市立北大和小学校 創立五十周年記念式典 ～半世紀の歴史を刻み、新たな未来へ踏み出す～ 大和市立引地台中学校 心を一つに、思いを伝える ～学びの成果を発表～ 大和市立下福田中学校 おらが学校 「ほっとるーむ始動！」 大和市立大和東小学校 学年をこえて繋がる一日 ～チャレンジ泉の森～ 大和市立大野原小学校 ホールに広がった 九校のハーモニー ～大和市総合文化祭合唱の部に 市内中学校九校が参加～ おもしろ科学館2025 ～科学工作や実験を通して、理科の楽しさを学ぶ～
所 報 第144号	3月26日	特別寄稿 「感謝の気持ち」 大和市立大和小学校長 板坂 和明 「多くの出会いに感謝」 大和市立草柳小学校長 寺山 智子 「教員人生を変えたPAとの出会い」 大和市立西鶴間小学校長 高井 洋一 特別寄稿 「いまの子どものからだ心はどうなっている？ ―すこやかな発達のための具体的な提案―」 日本体育大学教授 同大学体育学部長 子どものからだ研究所長 野井 真吾氏 令和7年度教育研究所研究発表会 ・地域教材に関する調査研究部会 ・教育の情報化に関する調査研究部会 ・授業力向上に関する調査研究部会 令和7年度調査研究部会紹介

② 教育資料の収集と閲覧・貸出し

教育専門書のほか市内小中学校発行の研究集録をはじめ、他市・県等の教育情報を収集整理し、閲覧と貸出しを行っています。

【令和7年度の教育資料の登録数と貸出し数】

収集冊数	廃棄冊数	登録冊数	貸出し冊数
22 冊	0 冊	3,032 冊	4 冊

【収集した教育資料の分類】

分 類	収集冊数	分類	収集冊数
行政機関関係	11冊	教科書関係	0冊
学校関係	8冊	教育諸団体関係	3冊

③ 教育史料の収集と閲覧・貸出し

『新版神奈川大和教育史第一巻・第二巻』発刊後、引き続き、平成元年から現在までの大和市における教育史料の収集・整理を行い、大和平成教育史（年表編・資料編Ⅱ）の発刊に向けて、史料の活用と体系化を継続します。また、閲覧と貸出しを行っています。

収集史料	学校関係、教育委員会関係、単位 PTA 関係、教育諸団体関係（教育研究会、学校保健会、PTA 連絡協議会、校長会、教頭会、学校事務研究協議会、中学校体育連盟等）の組織・事業等
------	---

【令和 7 年度の教育史料の登録数と貸出し数】

収集冊数	廃棄冊数	登録冊数	貸出し冊数
80 冊	0 冊	3,069 冊	151 冊

【収集した教育史料の分類】

分 類	収集冊数	分類	収集冊数
行政機関関係	13冊	教科書関係	0冊
学校関係	63冊	教育諸団体関係	4冊

13. 青少年相談室

(1) 青少年相談員の活動

青少年相談員は、青少年指導員・保護司・民生委員児童委員・中学校PTA・中学校教職員及び民間有志者などから教育委員会が依頼した40人以内で構成され、青少年の健全育成活動を行っています。

令和7年度の主な活動は、以下のとおりです。

月日	内容	場所	出席者
通年	地区別街頭補導・祭礼等特別補導・卒業式特別補導 1. 非行の行われやすい場所を重点的に巡回し、問題行動の早期発見と適切な助言指導を与えるために実施 2. 「大和阿波おどり」や地域の祭礼等にあわせ補導を実施 3. 市内公立中学校の卒業式にあわせ補導を実施 計 83 回実施	市内全域	延 536 人
5 月	「大和市民まつり」における啓発活動・特別補導 ○青少年相談員の活動を広く市民に周知するために実施 ○会場を中心に特別補導を実施	引地台公園	延 16 人
6 月	依頼状交付式・青少年相談員連絡協議会総会・青少年相談員全体研修会 ○令和6年度事業報告及び決算報告、監査報告 ○令和7年度事業計画（案）及び予算（案） ○その他	青少年相談室	27 人
7 月	環境浄化活動 ○青少年に有害な立て看板・貼り紙等の撤去活動を、関係機関・関係団体の協力を得て実施	市内全域	中止
7 月	社会環境実態調査 ○県からの要請を受けて、カラオケボックスの状況を調査	市内全域	2 人
11 月	青少年相談員視察研修会 ○青少年の補導活動に携わるうえで、より高い見識を持ち、効果的な指導を行うため、視察研修を実施	府中刑務所	18 人
10 月 11 月 12 月	市内公立中学校との情報交換会 ○各中学校の現状や学区内の状況などについて意見交換するために実施	各中学校	延 55 人

(2) 街頭補導の実施状況（令和7年度）

街頭補導実施回数 303 回

従事者数 延べ 987 人

		合 計	対象少年学校・職業別								措 置 別						
			未 学 就	児童・生徒・学生					有 職 少 年	無 職 少 年	・ そ の 他	セ ン タ ー 処 理	児 相 通 告	福 祉 通 告	警 察・保 護セ ン タ ー 引 継	医 療 機 関・ 保 健 所 引 継	そ の 他
				小 学 生	中 学 生	高 校 生	そ の 他	小 計									
不良 行 為 少 年 等	怠 学 ・ 怠 業																
	金品持出・金銭濫費																
	不健全性的行為	2 (1)		2 (1)			2 (1)				2 (1)						
	飲 酒 ・ 喫 煙	90 (35)			81 (30)		81 (30)	8 (5)	1		90 (35)						
	不 良 交 友																
	遊 技 場 出 入																
	不健全娯楽																
	深夜はいかい																
	刃物等所持																
	粗 暴 行 為																
	金品不正要求																
	家出・浮浪・無断外泊																
	シンナー・薬物等乱用																
	性的いたづら																
	暴走行為等交通違反	232 (138)	2 (1)	11 (4)	219 (133)		232 (138)					232 (138)					
そ の 他	28 (14)	2 (1)	3 (2)	23 (11)		28 (14)					28 (14)						
小 計	352 (188)	4 (2)	16 (7)	323 (174)		343 (183)	8 (5)	1			352 (188)						
非 行 少 年 等	犯 罪 少 年																
	触 法 少 年																
	ぐ 犯 少 年																
	要保護少年																
	小 計																
合 計		352 (188)	4 (2)	16 (7)	323 (174)		343 (183)	8 (5)	1		352 (188)						

()内の数字は女子で内数

(3) 青少年相談室の活動

青少年や保護者等から電話・来室・メールなどの相談により、課題解消に向けた支援を行っています。市立小学校に教育相談員を派遣し、各学校での相談に対応しています。青少年相談室では青少年心理カウンセラーとスクールソーシャルワーカーが、相談に対応するとともに、学校や他機関との連携も図っています。また、青少年の健全育成のために街頭補導活動、有害看板撤去等の環境浄化活動も行っています。

不登校児童生徒支援を充実させるために、教育支援教室「まほろば教室」・令和4年度に開設された不登校特例校「大和市立引地台中学校分教室」を設置するとともに、市立小中学校全校に不登校児童生徒支援員を派遣しています。なお、令和7年度の主な活動は、以下のとおりです。

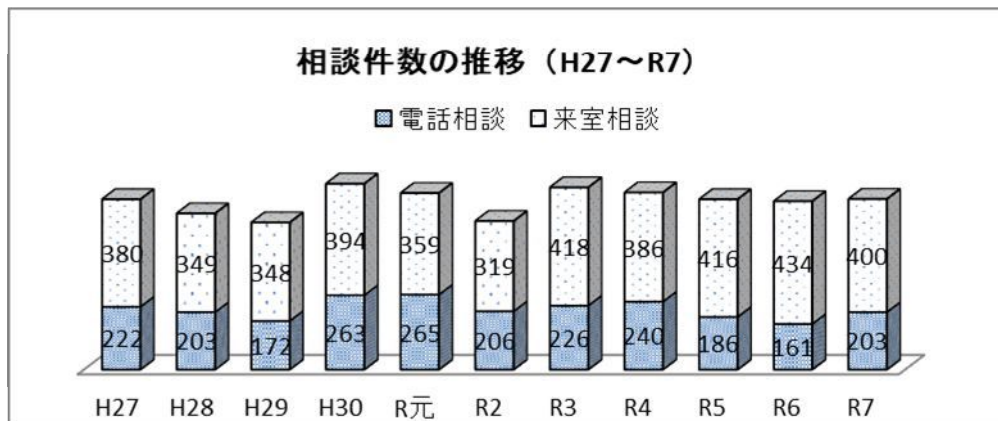
月 日	主 な 活 動
6 月 10 月	児童・生徒指導支援研修会 2 回実施 ○今日的な児童・生徒への指導支援の課題や方法を題材として、学校現場での実践へ繋げる。 ①「ヤングケアラーの把握とその後の対応について」 講師：大和市役所こども部すくすく子育て課家庭こども相談係 金田 麗子 氏 「児童虐待のリスクアセスメントとその後の対応について」 講師：大和綾瀬地域児童相談所こども支援課 矢後 芳明 氏 ②「発達障害と学校における支援方法」 講師：日本大学文理学部心理学科 菊島 勝也 氏
8 月	青少年相談室夏季研修講座 「自傷行為の理解と援助 ～見える傷の背後には見えない傷がある～」 講師：国立精神・神経医療研究センター（NCNP）精神保健研究所 薬物依存研究部 部長 松本 俊彦 氏
7 月	青少年健全育成講演会 ○教職員・市民等への青少年健全育成に関する理解の推進及び啓発 「安心できる家族とは ～カウンセリングの現場から考える～」 講師：日本公認心理師協会会長 原宿カウンセリングセンター顧問 信田 さよ子 氏
7 月～ 9 月	社会環境実態調査 ○カラオケボックスの状況を調査 (令和7年度 3 店)
7 月～ 1 月	登校を考える保護者会 3 回実施 ○不登校児童生徒の保護者の相互支援を図る 講師：教育相談アドバイザー 小見 祐子 氏
4 月～ 1 月	不登校児童生徒支援員連絡協議会 5 回実施 ○不登校児童・生徒支援について研修を深め、情報交換などを通して不登校児童生徒援助事業の充実を図る 講師：教育相談アドバイザー 小見 祐子 氏 等
4 月	児童・生徒支援連絡協議会 ○小中教育相談コーディネーター担当教諭等への情報共有
2 月～ 3 月	中学校教育相談コーディネーターと青少年相談室教育相談員の情報交換会 3 回実施 ○次年度、中学校就学予定児童についての情報交換
5 月～ 2 月	不登校対策連絡協議会 2 回実施 ○不登校及び不登校傾向の児童・生徒への指導・支援方法についての情報交換 講師：一般社団法人かけはし 代表 廣瀬貴樹 氏

(4) 青少年相談室の相談受理状況(電話相談・来室相談)

青少年自身の悩み、青少年が起こす問題行動に悩む保護者などからの相談を受け、その課題解消を支援します。

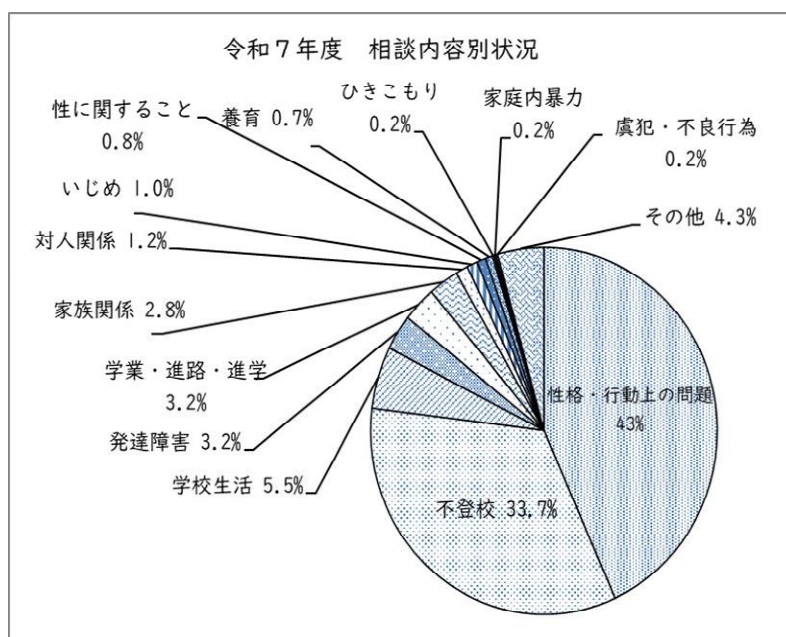
令和7年度の新規相談件数は、電話相談 203 件、来室相談 400 件、合計 603 件で、相談内容等は次のグラフのとおりです

相談件数の推移 (H27～R7)



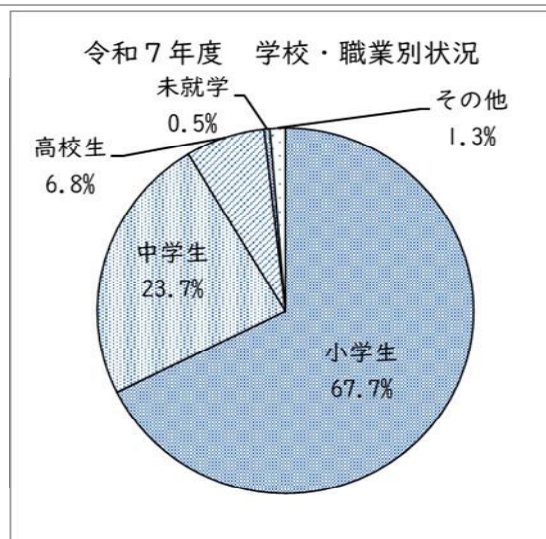
相談内容別状況

区 分	6 年度	7 年度
性格・行動上の問題	255	261
不登校	194	203
学校生活	54	33
発達障害	18	19
学業・進路・進学	15	19
家族関係	15	17
対人関係	6	7
いじめ	13	6
性に関すること	0	5
養育	10	4
ひきこもり	1	1
家庭内暴力	1	1
虐待・不良行為	0	1
児童虐待	2	0
犯罪触法行為	0	0
その他	11	26
計	595	603



学校・職業別状況

区 分	6 年度	7 年度
小学生	398	408
中学生	155	143
高校生	35	41
未就学	0	3
その他	7	8
計	595	603



(5) 県費スクールカウンセラーの派遣と不登校児童生徒支援員の配置

① 県費スクールカウンセラーの派遣（各中学校に派遣）

学校における教育相談体制の充実を図るため、県からスクールカウンセラーが各中学校に派遣されています。スクールカウンセラーは、生徒や保護者への教育相談やカウンセリング、教職員へのコンサルテーション、外部機関と連携協力など生徒が有意義な学校生活を過ごせるよう支援しています。令和7年度の相談内容や相談者は次の通りです。

相談内容			相談者		
① 不登校	1,089件	25.8%	① 中学1年	696人	16.5%
② いじめ問題	58件	1.4%	② 中学2年	396人	9.4%
③ 暴力行為	19件	0.5%	③ 中学3年	440人	10.4%
④ 児童虐待	17件	0.4%	④ 教職員	1,975人	46.8%
⑤ 性的な被害	16件	0.4%	⑤ 保護者	715人	16.9%
⑥ 友人関係	254件	6.0%			
⑦ 貧困の問題	2件	0.1%未満			
⑧ ヤングケアラー	25件	0.6%			
⑨ 非行・不良行為	91件	2.2%			
⑩ 家庭環境（④⑦⑧を除く）	391件	9.3%			
⑪ 教職員との関係	146件	3.5%			
⑫ 心身の健康・保健	594件	14.1%			
⑬ 性的マイノリティ	2件	0.1%未満			
⑭ 学業・進路	348件	8.2%			
⑮ 発達障害等	551件	13.1%			
⑯ その他の内容	619件	14.7%			
合計4,222件（1校平均約469件）					

② 不登校児童生徒支援員の配置

不登校対策として、平成24年度より市立中学校に不登校生徒支援員を1名ずつ配置しています。また、平成29年度より市立小学校10校（平成29年度は8校）に不登校児童支援員を配置、その後、令和7年度より市内全小学校に配置しています。不登校児童生徒支援員は、学校生活で配慮が必要な児童・生徒への学習支援や教育相談、家庭訪問などの支援を行っています。

(6) 教育支援教室「まほろば教室」

不登校児童生徒を対象に、相談活動、学習支援、人間関係づくりへの支援などを組織的・計画的に実施し、児童生徒の「生きる力」の伸長を目指し、「まほろば教室」を設置しています。

① 月別利用人数

月	4月	5月	6月	7月	夏季	9月	10月	11月	12月	冬季	1月	2月	3月
人数	38	41	45	44	37	50	53	56	55	16	56	54	58

○利用人数 96人

○通室児童生徒の学年内訳

小学校		中学校	
1年	1人	1年	12人
2年	1人	2年	20人
3年	4人	3年	18人
4年	14人		
5年	10人		
6年	16人		

保護者会・授業参観

	月日	内 容
1	5～2月	まほろば保護者会 5回 (延 29人参加) 【6/13 7/11 10/17 12/19 2/20】
2	8・12月	おたのしみ会 2回 (延 33人参加) 【8/29 12/25】 児童生徒含む
3	8月20日	卒業生のお話を聴く会 (18人参加) 児童生徒含む
4	3月17日	旅立ちの会 (20人参加) 児童生徒含む
5	7・8月	保護者面談 (希望制 10人参加)

② 通室児童生徒の担任と教育支援教室との情報交換

	月日	内 容
1	8～10月	7月までの情報交換と9月からの方向性について情報交換・参観
2	12・1月	1、2年生：通室時の様子、今後について情報交換 (電話・C4th) 3年生：進学、卒業に向けた情報交換 (電話・C4th)
3	3月	進級時期を迎えるにあたっての情報交換 (電話・C4th)

(7) 引地台中学校分教室

不登校生徒を対象に、「一人ひとりの生徒の社会的自立を目指す」ための学習機会を保障し、より多様な学び場としての新たな選択肢の一つとして設置しています。

①在籍状況

○在籍人数 30人 (令和8年3月末現在)

○入室生徒の学年内訳

1年 11人

2年 9人

3年 10人

②年間行事

4月	・保護者説明会 ・個別相談会 ・オープニングセレモニー ・教育相談 ・たけのこ堀
5月	・大人の登校日
6月	・引き渡し訓練
7月	・校外宿泊学習（キャンプ） ・三者面談 ・大人の登校日
9月	・体験学習（流しそうめん） ・大人の登校日
10月	・3年生進路三者面談
11月	・収穫祭
12月	・竹林間伐 ・三者面談
1月	・竹林間伐 ・餅つき大会
2月	・竹林間伐
3月	・卒業セレモニー ・1,2年生三者面談